



黎明四十年

千葉県立成田北高等学校

千葉県立成田北高等学校 創立40周年記念誌

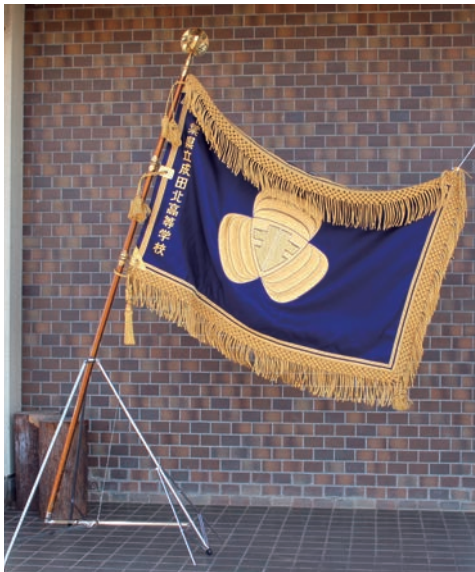
2010年4月1日~2020年3月31日



NARITAKITA
HIGH SCHOOL

ロゴマーク 40期生 齋藤 春菜
題 字 40期生 小泉 愛奈

校旗・校章の由来



成田ニュータウンの北部地区にある本校の校地は、地質時代第四紀洪積世の地層である成田層が露出していて、太古の海底に堆積した貝類が化石として多産する。その貝殻の三枚を組み合わせたデザインで、本校の教育理想「知育・徳育・体育の調和」を形象化し、また校訓「自律・協調・健全」を目指して努力する若人の進歩を貝殻の成長線で示した。中央には校名より北の字を配して、国際空港都市成田から世界に雄飛するジェット機に模し、未来に向かって発展する若人の可能性を表現した。

校歌

千葉県立成田北高等学校校歌

作詞 沢田繁二
作曲 寺内 昭

一、黎明^{れいめい}近き 成田路^{なりたじ}に
光を待ちて 佇^{たたず}めば
新星北に またたきて
さやけく開く 英知の門
おお その名 北 高
奮^{ふる}ひ立ち 希望に燃えて
自律の旗 高くかかげん

二、若草^{わかくさ}萌ゆる 土深く
太古の海が 眠りあて
校庭^{けいてい}に散りしく 白き貝
その成長の 線のごと
おお その名 北 高
向上の 記章^{ししやう}を胸に
協調の輪を 固く結ばん

三、翼^{はね}を挙げて
針路^{しんろ}を北に べがサスは
たとへ嵐は 天翔^{あまか}ける
若き生命^{いのち}に 荒ぶ^{すさ}とも
おお その名 北 高
たくましく 未来に向ひ
健全の道 ともに進まん

CONTENTS

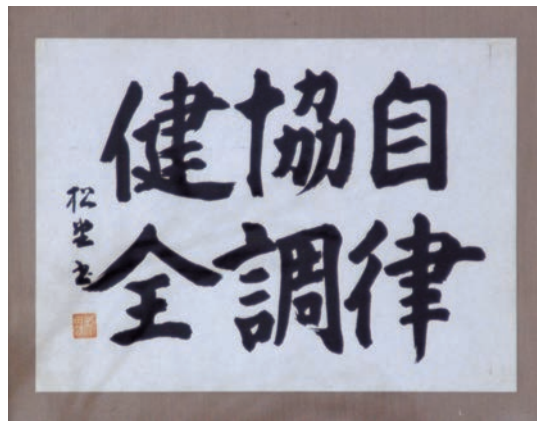
05	挨拶
13	創立からのあゆみ
27	部活動・委員会
54	分掌
60	P T Aから
66	教職員在任期間一覧
72	学年主任・担任一覧
73	教育課程の変遷
74	創立40周年事業の概要
75	創立40周年の会則

スクールバッグ

開校から平成4年まで「北高バッグ」として指定。
平成4年9月からバッグが自由化された。



教育目標



校訓 「自律・協調・健全」のこと

「自律」

他律から自律への意識改革。

進んで知性・教養を磨き、自らの規範によって判断し、行動規制のできる人をめざす。中学時代までは親や教師に指示される他律的行動規制が多いのであるが、高校生は一步進んで、自律的行動の確立に努めなければならない。自律は自立への必要条件でもある。過保護に甘え、忍耐力に欠ける若者の通性を戒め、稚心を去って成長する人間をめざすことを望んだもの。

「協調」

自己主張の前に相手を思う。

集団の一員としての連帯意識をもち、他人への思いやりや互譲の心を基礎に、社会において協力調和のできる人をめざす。グローバル化が進む社会、自己本位の考え方が摩擦を生む社会で貴いものは「協調」である。

「健全」

人間活動の基本。

強健な身体と精神に加えて逞しい意欲、実践力の持ち主をめざす。明治の昔から尚ばれた徳目に「質実剛健」があった。今でも通用するのであるが、時代的に体得が難しいこと、男女共学にふさわしいものであること、そして生命の尊厳を教える時代的要請などから「健全」を採用した。平凡なことではあるが、心身の健全さこそ、人間の教養や英知を支える最も重要なことであるからである。





ご 挨拶



創立40周年を祝して

創立40周年事業実行委員長 百瀬 幸次

千葉県立成田北高等学校創立40周年を迎えることに心よりお祝い申し上げます。これもひとえに創立当初より献身的に生徒の指導に当たって来られた教職員の方々の並々ならぬ努力と、後援会、同窓会、PTAが三位一体となり、良質な教育環境の提供や学校運営のサポート役となり盛り上げ積み重ねてきた結果であり、成北を取り巻く全ての関係者の努力の賜物であり深く敬意を表します。また、私自身も6期卒業生であり、その後PTA会長も経験させていただいた上、更にこの40周年記念事業の取りまとめ役として携われることは、大変光栄に思うと同時に、非常に感慨深いものがあります。

成北の入学式で先輩方が歌っていただき、始めて耳にした校歌が今でも心に残ります。歌詞に「ペガサス」というカタカナが入っていることが近代的だなと思ったことを、また、成北に入学が決まった時、山口地区に生まれ育った祖母の話で、グランド辺りには千把ヶ池という大きな池があったと聞かされていましたが、初めて門をくぐった時は既にその面影は感じられませんでした。しかし、一度雨が降ると水捌けが悪く、開校当時を知る先輩方の話によると良くなった方だと聞かされ、そうした時祖母の話を思い出し、成北の歴史の浅さを当時は感じました。しかし今では、改良を重ねしっかりとしたグランドになり、学び舎としての最良の舞台として生徒を迎え入れ、送り出していることに嬉しさと誇りを感じています。

昨今、社会・経済・文化とどの分野においても、めまぐるしいスピードで情報が飛び交い、簡単に国境を越える多様化したこの世界を、昭和55年に開校して以来、今日まで成北を巣立った卒業生は、50代半ばを筆頭に各方面で活躍して幅広く社会を支えています。在学中は校訓である「自立・協調・健全」をもとに、勉強や部活動と一生懸命取り組む大切さと喜びを学び、そして高い目標を掲げ、新しい時代に順応するべく豊かな発想力と自ら困難に立ち向かう勇気を養い、私は今このかけがえのない経験がいかに実社会において必要であり大切であるかということを実感しています。引き続き同窓生の皆様には、成北を卒業した誇りと責任を持って人生を歩んでいただき、成北を卒業して本当に良かったと思っていただきたいと思います。そして、後に続く後輩も、成北で学び大きく飛躍し続けていただければ、更に素晴らしいことだと思います。

今回、この40周年記念事業開催にあたり、後援会、同窓会、PTAそして校長先生をはじめとする教職員の方々の協力のもと実行委員会を立ち上げ準備を進めて参りました。実行委員会発足当初は記念式典や祝賀会、記念事業、記念誌の発行等計画を軸に進めて参りましたが、皆様もご承知の通り世界中に蔓延した新型コロナウイルス感染症の影響を受け、当初の計画を大幅に変更せざるを得ない状況となりました。本来ならば学校関係者並びに同窓生と共に、成北の40周年という節目を振り返る予定でありましたが、計画の変更余儀なくされ、最終的に記念誌の発行及び記念事業のみとなってしまったことは、とても残念でなりません。今後迎える50周年記念事業では、是非とも私たちが成し得なかった事業を開催し、大いに盛り上げていただくことを期待したいと思います。

最後に、この輝かしい千葉県立成田北高等学校が、今後益々発展し、たくましい若者たちが羽ばたく場であり続けることを心から祈念いたします。また、創立40周年記念事業開催準備にご尽力いただいた全ての方々に心より感謝申し上げお祝いの挨拶といたします。



創立40周年記念誌の発行にあたり

校長 弘海 政信

本校は、地域社会の強い要望を受け、昭和55年4月15日、成田ニュータウン北端の地に誕生いたしました。以来40年の歳月を経て、多くの卒業生が有為な人材として本校を巣立っていきました。これまで本校が教育活動を続けてこられましたのも、開校当時の職員、生徒、さらにはPTAの方々の気概を礎とし、その志を継承された学校関係者の方々の御努力と、成田市をはじめとする関係機関の皆様の御協力の賜物です。開校当初は学年4クラスでしたが、昭和63年から10クラス規模に、現在は生徒数減少の影響で1学年7クラスとなっています。生徒数は変わっても「自律・協調・健全」の校訓のもと、不断の努力を継続し教育活動を展開する姿勢に変わりはありません。さらに、令和2年度からは普通科の中に医療コースが設置されましたので、今まで以上に地域に根差した人材の育成ということが求められていると思います。

さて、本来であれば令和2年11月13日に創立40周年記念式典が挙行される予定でした。しかし、令和2年の初め頃から日本では新型コロナウイルスの感染が次第に拡大したため、これまでに例のない全国一斉の休校措置が実施され、本校でも3月4日から5月末まで臨時休校となりました。この間、卒業式や入学式も行ったとはいえ、式辞の省略や参加者の制限、時間短縮等、限られた中での開催となりました。また、6月からは学校が再開されましたが、当初は分散登校や時差登校での運用となり、7月末に終業式が行われ、夏季休業も短縮されました。この影響を受け、部活動や諸活動は満足にできず、黎明祭を始めとした様々な学校行事、各種大会等が中止となり、創立40周年記念式典につきましても実行委員会の判断で、開催中止という事態に至りました。パンデミックによる学校の運用・対応が未曾有の出来事とはいえ、この時期に記念式典が重なってしまい、実施に至らなかったことは極めて残念なことです。

コロナ禍によって社会は影響を受け、様々な業界に被害をもたらしました。その一方で、デジタル化、ICT機器活用の面では、社会や学校に新たな変革をもたらす契機となるという見方もされています。コロナ禍以前から、AI技術の急速な進展等によりSociety5.0の社会を迎え、今後は予測不可能な時代が来ると、よく言われておりました。コロナ禍もその契機のひとつであったと言える時がやがては来るのかも知れません。学校も様々な意味で変革期にあるということであれば、先人の教えに倣いつつも、時代のニーズに対応した努力をすることが求められることとなります。関係者の皆様には、今後も本校に対する御理解と御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、これからの成田北高等学校の発展に資するよう、その歩みを進めて参りたいと思います。

結びに、創立40周年記念誌を発行するにあたり、実行委員長様、PTA、後援会、同窓会の皆様並びに原稿や資料をお寄せいただいた方々、編纂に御尽力くださいました方々に、心より感謝申し上げます。



創立40周年を祝して

黎明会長 山内 啓嗣

成田北高校創立40周年おめでとうございます。成田北高同窓会を代表いたしまして、心よりお祝い申し上げます。また成田北高同窓会「黎明会」の会員の皆様におかれましては、ますますご活躍のことと拝察申し上げます。

令和2年に創立40周年を迎えまして、PTA 後援会 黎明会が共同で、記念式典、祝賀会などの作業を進めてまいりましたが、この春より世界中に新型コロナウイルスの流行により、各分野に大きな影響が出ています。成田北高校でも恒例の行事は、軒並み中止となり、二カ月以上授業ができない状態が続き、記念式典、祝賀会は中止となり、とても残念であります。

母校である成田北高校は1980年に開校し、第1期生188名でその歴史が始まりました。我々2期生は、男子96名 女子86名 計182名で第2回入学式を迎えました。当時成田北高校の体育館は建設中で、成田西高校（現成田国際高校）の体育館をお借りしての入学式で、生徒総会も屋上まで椅子を運び青空の下で行いました。成田北高校は未完成の高校なのだと実感したものです。校則は厳しいのですが、自由でなんでも出来る未完成な高校でした。

月日がたち私が同窓会の会長としてこの成田北高校に再びお世話になるとは思いもありませんでした。30年ぶりに母校に訪れると当時植えたばかりの木々がとても大きく立派に育って、花壇にもきれいな花があり、緑に囲まれた高校だと思いました。職員玄関を入ると、亡き父がPTA会長を務めた時に寄贈した「大樹」と命名された絵が今も飾ってありました。当時を尋ねると、大樹のごとく大地に根を張り、将来を見つめ、鏡の如く清い心と、雨風にも揺るがぬような強い意志を持つ人に育ってほしい。そして北総の地に不動の成田北高校が樹立するようにと願いを込めたとのことでした。

この10年の同窓会活動としては、まだ名称のない状態でしたので、名前を付けようということになり、校歌の歌い始めの黎明と文化祭の名称が黎明祭、そしてその黎明祭の日に総会が開かれることで黎明会と命名しました。今では、会員も1万2千人を超える大きな組織になっています。

黎明会の活動として、黎明会をどう知ってもらうか、新しい仲間、世代を超えた付き合いができるか、母校の情報発信活動、部活動の活躍情報、黎明祭などで成田北高校グッズの販売また消防隊北高OBによるAED講習やマラソン大会への協力も毎年の行事になっています。各世代との情報交換活動の場として懇親会などを行い、徐々に規模も大きくなり、多くの会員の皆様に参加していただけるようになりました。また、40周年事業としては、グランド階段上の時計塔（卒業記念品）が壊れていたもので、新しい時計塔を設置しました。後援会、PTA合同で体育館の緞帳（卒業記念品）の修繕を行いました。今後も母校との連携を密にしながら、母校の発展に貢献できる立場でありたいと思っています。

月日の流れで、制服も変わり、生徒数も多くなり、校舎も歴史の流れを感じる姿になってしまいました。何よりも私自身の子供たちが成田北高校に入学し、先生方や多くの仲間へ導かれ、地元へ根付き、地元へ愛される高校へと成長したことが、成田北高校の卒業生の一人として嬉しく思います。これから益々発展し、我が家のように2代目世代から、その先の世代からも支持される高校へと成長していくことを心より願って、創立40周年の挨拶とさせていただきます。



創立40年を祝して

後援会 会長 吉村 貞男

千葉県立成田北高等学校が創立40周年を迎えられた事を心よりお祝い申し上げます。

昨今のように少子高齢化が進み、学校の統廃合が加速し教育環境が大きく変化する中で、成田北高校は普通課程の高校でありながら医療コースを併設するなど県下有数の規模と優良校になりました。今日に見られる通りの発展と成果を上げてこられたのは、歴代の校長先生を始めとする本校に赴任された教職員の皆様方の弛まぬ努力の結晶であり、併せてPTA・同窓会・後援会の皆様による学校への惜しみないご協力の賜物であると思います。これまでの弛まぬ努力とご協力に改めて感謝申し上げます。今後も教職員の皆様並びに学校関係団体のご協力を頂くことで、前途有為の若者を育みながら50年・100年へと更に発展していくことを確信しています。

40年の節目を迎えた今年は、非常に記憶に残る年となりました。春先より新型コロナウイルス感染症が世界中に蔓延し、昨年まで行っていた卒業式や入学式、学校行事等が縮小や中止を余儀なくされています。また、普段の生活においても「当たり前」であったものが制限や規制をされ、日常が非日常へと大きく変わりました。しかし生活様式の変化に戸惑いながらも、感染対策の一環で行っているマスク着用や3密を避けた行動等が「自分が感染源にならない、家族や周りの人々に感染させない」という思いやりに改めて気付かされました。この思いやりを忘れずに日常を過ごすことで、コロナウィルスを恐れることなく、非日常と感じたものが日常的なものに変化しても戸惑うことなく対応していけると思います。

さて、私は二人の息子が本校でお世話になり、PTA活動に参加させて頂きました。子供たちが卒業した後も縁あって後援会での活動が続けることとなりましたが、今日まで多くの北高生を見てきて感じたのは、生徒たちが屈託なく明るく元気に高校生活を楽しんでいるという事です。保護者や私たち後援会のメンバーへの挨拶はとても爽やかで気持ちの良いものですし、卒業式では卒業生が先生や保護者に向い「有難うございました」という感謝の気持ちを素直に表現し、穏やかに会場をあとにする姿に清々しさと感動を覚えました。成田北高校はそんな生徒を育む環境にあります。このような素晴らしい環境と「素直で爽やか」という校風を、在校生、保護者の皆様、そして今後の北高生と共に、伝統として引継いで頂きたいと願います。

成田北高校は、卒業生達の高校時代を懐かしく思う気持ちや、母校を誇りとする気持ち、ここに集った多くの方々の思いによって支えられ、更に時を刻んで行きます。

今後も、先生方の愛情とご指導の下で多くの生徒たちが勉学・スポーツに励み、輝ける十代の季節を過ごして、更なる広い世界への扉を開き巣立っていくことでしょう。

創立40周年を契機として、学校・地域・家庭の連携をより深めていくと共に、成田北高等学校の理念と理想を求め、更なる飛躍をとげられますようご祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



創立40周年を迎えて

～Never Give Up!!～

PTA会長 鳥海 直樹

新天皇即位による令和という元号変更から2年目を迎え、東京オリンピック・パラリンピック開催を予定していた2020年。そして無慈悲にも新型コロナウイルスが日本を来襲し教育現場や日本経済にも大きな影響を与え歴史上、衝撃的な出来事が起こった年に、創立40周年を迎えることになりました。喜怒哀楽の、どれか一つだけでは表わし得ない不思議に交錯した感情を持つことになった節目の年であります。

40周年という長い歴史は、歴代校長先生をはじめ諸先生方、卒業生の皆さまが、本校の教育の理想や校訓を脈々と継承し、そして同窓会、後援会、PTA、地域の皆さまのご支援と関係各位における不斷の努力の賜物であると思います。PTAを代表しまして心から敬意と感謝を申し上げます。

本校のPTA行事や学校行事に参画して感じたことが3つあり、1つ目は学校長をはじめとする教職員皆さまの御指導の賜物だと思いますが、北高生徒の実直な取り組みが印象的であること。2つ目に本校同窓会組織、後援会組織、PTA組織の3団体の連携がスムーズであり、同窓会、後援会の両組織が学校運営や生徒のためPTA活動にも連動してご尽力頂けていること。3つ目は、多くの保護者皆さまがPTA活動に参画していることが実感することができました。

2020年度のPTA活動は、文化祭、体育祭、マラソン大会等の学校行事中止に伴いPTAからの飲食提供が行えず、広報委員会の会報紙発行事業以外、すべての事業が中止となりました。

本来のPTAの主な活動として、教養研修委員会では、生徒のための未来講座事業、生徒を見守る校外指導委員会、生徒の国際交流のサポートを行う国際交流委員会、ユニークな広報紙作製に取り組む広報委員会、文化・地域委員会では、焼き鳥調理など様々な事業を企画し学校行事に参画しております。

そして5つの委員会をとりまとめるPTA本部は、今年度はコロナ禍で通常のPTA活動が、できないがゆえに生徒のためにできることを模索した結果、生徒と教職員の衛生環境を保つべく消毒液の購入や昇降口に非接触型検温装置の導入を行いました。本部役員同士も仲良く協力し理事皆さまの意見を集約しつつ積極的に工夫を重ねた活動も行うことができました。

あらためて思うことは、生徒の笑顔創出に寄与する活動機能が、PTAの伝統として、しっかりと引き継がれている北高PTAであると感じております。

100年に1度起こっている「パンデミック」は1720年「ペスト」1820年「コレラ」1918年「スペイン風邪」2020年「新型コロナウイルス」が歴史上記録されていると思います。今回のパンデミックも世界や日本経済をも揺るがし、日本の宝である生徒児童への教育にも影響を及ぼし現在も、この局面は続いている最中であります。

しばらくすれば、必ず治療薬やワクチンの対応ができて安心安全の世の中になっていると思いますが、また同じような状況がやってくるかもしれません。今回、辛酸をなめたのは生徒だけではなく、全世代が今後の社会へ、この経験を活かす試練が与えられたことを感じざるを得ません。

最後に本校が40年かけて作り上げてきた伝統が継承されていくこと。無限の可能性を秘めた千葉県立成田北高等学校が新たなウィルスが出現や、様々な事象が起こりうる社会に立ち向かって乗り越えていく人材、新時代の礎となる多くの生徒を輩出する高校であることを切に願うとともに、更なる飛躍を祈念させていただき創立40周年の挨拶とさせていただきます。

～Never Give Up!!～



創立40周年を祝して

千葉県立成田北高等学校第40期生徒会長 山倉 梓

今年度、創立40周年を迎えた成田北高校は、これまでに多くの生徒が卒業し、そして卒業後さまざまな分野で活躍する有意な人材を送り出してきました。ここに、長い歴史と伝統を感じ、感慨深い思いがあります。

40年という、私たち生徒が今まで生きてきた時間よりも遥かに長い月日の中で、千有余人という先輩方が積み上げて下さった成田北高校の文化や伝統は、言葉では言い尽くせない大切なものであると改めて感じています。今までの先輩の功績の上に今の私たちの学校生活が成り立っているのだと思うと、感謝の気持ちでいっぱいです。そして、歴代の先生方、そして社会に羽ばたき活躍されている先輩方の努力によりこの学校は成長、発展してきました。

皆様の御支援・御協力のもと、私たちは現在、「自律・協調・健全」の精神を胸に、様々なことにチャレンジし、仲間と協力し、勉学や部活動、学校行事の更なる向上を目指し、学校生活を送っています。そして、この教育環境の中で、私たちは貴重な青春時代を充実させ、卒業後は先輩方に続き社会に貢献出来る人材になれるよう努力を重ねていきます。

今、創立40周年という節目を迎え、成田北高校がさらに発展し、より良い学校生活になることを願い、お祝いの言葉と致します。





緞帳 令和2年8月31日設置



時計塔改修
第6回卒業記念(平成27年度2016年3月)
設置(同窓会)



体育館用スクリーン
平成26年3月23日設置



大樹(山内克己)



メタセコイア
校舎竣工記念樹



海へ 創立10周年記念像



創立からのあゆみ



全景 グランド中央の水溜りが見える 昭和55年12月

千葉県立成田北高等学校は創立40周年を迎えることになったが、この40年で本校も成田市周辺地域も大きな変貌を遂げている。そのことは本校の歴史を語るには重要なことである。JR成田駅の駅前側の開発により旧商店街の街並みが変わり、交通の便がさらに良くなった。成田参道のセットバック事業により、参道から電柱が消え、街並みがきれいになった。そのことで文化事業への弾みがさらに進み、成田伝統芸能まつり・スカイタウンでの催し等で、高校生の参加の機会が増えた。書道展への参加は発表の場をいただいた。また、北総線の成田湯川駅の新設により、印西方面・空港方面から通学し易くなった。ニュータウン外周道路の延伸、北総線側道国道464号の延伸により道路網整備され交通の便が良くなった。国際医療福祉大学と大学付属の成田病院が出来たことにより、本校にも医療コース設置され、医療従事者を増やす体制が整ってきた。

それでは、これから開校からの30年間のあゆみを簡単に紹介します。

成田北高校の第1回卒業式まで

- 1980年（昭和55年）** 4月15日第1回入学式（会場：千葉県立成田西高等学校体育館：現成田国際高校）新入生188名 初代校長岩上利男 5月2日徒歩遠足（風土記の丘） 6月14日PTA設立総会 7月3日生徒総会 7月27日～29日林間学校（富士緑の休暇村） 8月24日～25日リーダー研修会（神崎青年の家） 10月9日スポーツ大会 10月18日柘植101本植樹（グラウンド） 11月22日校旗・校歌制定式 第1期生徒会長石井幹夫 2月7日第1回耐寒マラソン大会
- 1981年（昭和56年）** 第2期生入学（式場：千葉県立成田西高等学校体育館）182名 7月23日体育館竣工 8月6日北校舎竣工 9月18日～19日第1回黎明祭 9月27日テニスクレーコート完成 10月16日芸術鑑賞会 10月25日～28日2学年修学旅行（京都・奈良） 11月19日合唱コンクール
- 1982年（昭和57年）** 第3期生入学180名 この年の遠足は1年生：房総風土記の丘 2年生：上野公園（ミレーの「晩鐘」鑑賞） 3年生：川崎製鉄千葉工場見学 6月17日生徒会映画会「クレーマー・クレーマー」 10月17日読書感想文発表会 10月30日校舎落成記念式典（メタセコイアが竣工記念樹） 11月18日校門・前庭完成 11月22日3年生テーブルマナー講習会 2月3日第1回予選会 職員劇（作富山） 3月9日第1回卒業式 3月24日生徒会誌「北星」第1巻発行 第1回卒業生181名



スキー修学旅行開始 平成3年2月14日～17日

- 1983年（昭和58年）** 第4期生271名 12月24日～28日第1回スキー教室（長野県車山高原）第2回卒業生177名
- 1984年（昭和59年）** 第5期生275名 第2代校長石井功着任 6月15日県民の日制程 9月12日
緞帳完成 グラント整備完了 第3回卒業生175名
- 1985年（昭和60年）** 第6期生入学274名 第4回卒業生265名
- 1986年（昭和61年）** 第7期生入学320名 3月6日同窓会入会式・校歌碑除幕式 第5回卒業生
266名
- 1987年（昭和62年）** 第8期生入学330名 第3代校長羽生正充着任 清掃を当番制に切り替えた
3月体育館ピロティ改修工事竣工 第6回卒業生268名
- 1988年（昭和63年）** 第9期生入学470名（10クラス）芸術科目に工芸を加えた パン販売開始
（北校舎1階通路）第7回卒業生320名
- 1989年（平成元年）** 第10期入学472名 女子の開襟シャツ・黒ストッキング許可 十周年記念プロ
ンズ像「海へ」製作綿貫ひろ子（当時千葉県立匝瑳高等学校勤務）第8回
卒業生325名
- 1990年（平成2年）** 第11期生入学459名 11月工芸窯場竣工 11月14日創立10周年記念式典・祝
賀会 2月14日～17日スキー修学旅行（関西方面から変更）第9回卒業生
463名
- 1991年（平成3年）** 第12期生入学458名 第4代杉山進校長着任 3月27日グラント全面工事完
成 第10回卒業生462名
- 1992年（平成4年）** 第13期生入学455名 学校5日制始まる 9月1日スクールバッグ指定解除
（自由となる）12月24日CAI教室工事完成 第11回卒業生449名
- 1993年（平成5年）** 第14期生入学436名 第12回卒業生453名
- 1994年（平成6年）** 第15期生入学424名 第5代井上洋一校長着任 第13回卒業生448名
- 1995年（平成7年）** 第16期生入学404名 4月 国際理解教育推進委員会設立 6月12日オース
トラリア・ワガワガ高校と姉妹交流発足 第14回卒業生430名
- 1996年（平成8年）** 第17期生入学404名 第6代花井保校長着任 7月23日～8月12日第1回海
外研修実施（14名ワガワガ高校）11月16日～12月4日ワガワガ高校から生徒
7名引率1名来校 第15回卒業生420名



マラソン大会 平成14年2月7日

- 1997年（平成9年）** 第18期生入学403名 6月12日ゴミ焼却炉使用停止 第16回卒業生393名
- 1998年（平成10年）** 第19期生404名 第7代村田一男校長着任 9月1日インターネット接続
12月2日ドナルド・キーン氏講演 第17回卒業生400名
- 1999年（平成11年）** 第20期生入学401名 第18回卒業生391名
- 2000年（平成12年）** 第21期生入学403名 第8代越川雄次郎校長着任 11月2日創立20周年記念
式典 1月1日CA I 教室の施設・設備更新 第19回卒業生390名
- 2001年（平成13年）** 第22期生入学364名 22期生から新制服に移行 ワガワガ高校を表敬訪問（大
場正治前PTA会長・相川光規PTA会長・越川雄次郎校長・花香武男教諭）ア
メリカ同時多発テロ事件起こる 10月30日～11月2日修学旅行（スキーから
変更）県立高等学校通学区域に関する規則改定され、隣接区域から中学生
は受験可能となる 第20回卒業生395名
- 2002年（平成14年）** 第23期生入学324名 第9代校長大録郷吉着任 第21回卒業生390名
- 2003年（肺炎15年）** 第24期生入学327名 SARS（新型肺炎）騒ぎでワガワガ高校への交流出来ず。
第22回卒業生354名
- 2004年（平成16年）** 第25期生入学325名 第23回卒業生319名
- 2005年（平成17年）** 第26期生入学326名 第10代校長小松栄三郎着任 第24回卒業生322名
- 2006年（平成18年）** 第27期生入学327名 第25回卒業生312名
- 2007年（平成19年）** 第28期生入学327名 第11代校長玉造功着任 教室に冷房が入る（PTAより）
第26回卒業生315名
- 2008年（平成20年）** 第29期生入学329名 第27回卒業生316名
- 2009年（平成21年）** 第30期生入学323名 第12代校長鈴木政男着任 新型インフルエンザが流行
しワガワガ高校との交流中止 第27回卒業生321名

2010年

(平成22年)

1	4	新任式、始業式、第31期生入学式（326名）、PTA入会式、新入生歓迎会、離任式、1年校外学習、球技大会
	5	新体力テスト・身体計測、生徒総会、中間考査、PTA総会
	6	保護者面談
	7	期末考査、終業式、オーストラリアワガワガ高校研修生出発（7/24）、後援会総会、保護者面談、2年生インターンシップ 北総線「成田湯川駅開業」

2	8	学校説明会、オーストラリアワガワガ高校研修生帰国（8/10）
	9	始業式、避難訓練・防災講話、黎明祭、スポーツ大会
	10	生徒会役員選挙、中間考査、修学旅行
	11	学校説明会、2年進路別バス見学会 創立30周年記念式典・祝賀会、
3	12	期末考査、生徒会認証式、芸術鑑賞会、終業式

3	1	始業式、大学入試センター試験、3年学年末考査
	2	前期選抜、マラソン大会、2年進路講演会、
	3	後期選抜、第29回卒業式（313名）、学年末考査、人権教育、終業式、3.11東日本大震災発生



入学式 4月



春の風景 4月



球技大会 4月



授業風景（CAI教室にて）



オーストラリア海外研修旅行 8月

2011年

(平成23年)

1	4	第13代加瀬正彦校長着任 新任式、始業式、第32期生入学式（286名）、PTA入会式、新入生歓迎会、離退任式、1年校外学習、球技大会
	5	新体力テスト・身体計測、生徒総会、中間考査、PTA本部役員会、
	6	保護者面談
	7	期末考査、終業式、オーストラリアワガワガ高校研修生出発（7/24）、後援会総会、保護者面談

2	8	学校説明会、オーストラリアワガワガ高校研修生帰国（8/10）
	9	始業式、避難訓練・防災講話、黎明祭、スポーツ大会
	10	生徒会役員選挙、中間考査、修学旅行
	11	学校説明会、2年進路別バス見学、授業公開（学年PTA）
3	12	期末考査、生徒会認証式、芸術鑑賞会、終業式

3	1	始業式、大学入試センター試験、3年学年末考査
	2	前期選抜、マラソン大会
	3	後期選抜、第30回卒業式（317名）、学年末考査、人権教育、終業式



入学式 4月



球技大会 4月



登校風景 6月



オーストラリア研修旅行 8月



修学旅行（沖縄）10月



黎明祭 9月

2012年

(平成24年)

1	4	新任式、始業式、第33期生入学式（322名）、PTA入会式、新入生歓迎会、離任式、1年校外学習
	5	新体力テスト、身体計測生徒総会、中間考査、PTA本部役員会・後援会理事会
	6	保護者面談
	7	期末考査、終業式、オーストラリアワガワガ高校研修生出発（7/22）、保護者面談、2年インターンシップ
2	8	学校説明会（8/2・3）、オーストラリアワガワガ高校研修生帰国（8/8）
	9	始業式、避難訓練・防災講話、黎明祭、スポーツ大会
	10	生徒会役員選挙、中間考査、修学旅行、体育祭
	11	学校説明会・公開授業、2年進路別バス見学会、
	12	期末考査、生徒会認証式、芸術鑑賞会、終業式
3	1	始業式、大学入試センター試験、3年学年末考査
	2	前期選抜、マラソン大会
	3	後期選抜、第31回卒業式（315名）、学年末考査、人権教育、終業式



1年校外学習 4月



球技大会 5月



黎明祭 9月



黎明祭 9月



修学旅行（沖縄）10月



スポーツ大会 9月

2013年

(平成25年)

1	4	新任式、始業式、第34期生入学式 (320名)、PTA入会式、新入生歓迎会、離退任式、1年校外学習
	5	新体力テスト、身体計測、生徒総会、中間考査、球技大会
	6	PTA・後援会総会、保護者面談、
	7	期末考査、成北未来講座 (第1回目 PTA主催)、終業式、オーストラリアワガワガ高校研修生出発 (7/21)、2年インターンシップ、
2	8	学校説明会 (8/8・9)、オーストラリアワガワガ高校研修生帰国 (8/7)、
	9	始業式、黎明祭 (9/14・15)、スポーツ大会
	10	生徒会役員選挙、中間考査、2学年修学旅行
	11	防災訓練、学校説明会・公開授業、2年進路別バス見学会
	12	期末考査、生徒会認証式、芸術鑑賞会、終業式
3	1	始業式、大学入試センター試験、3年学年末考査
	2	前期選抜、マラソン大会、後期選抜
	3	第32回卒業式 (286名)、学年末考査、人権教育、終業式



未来講座 7月



ワガワガ高校研修生歓迎 9月



スポーツ大会 9月



救急救命講習 10月



マラソン大会 2月



芸術鑑賞会 12月

2014年

(平成26年)

1	4	第14代平賀洋一校長着任 新任式、始業式、第35期生入学式（286名）、PTA入会式、新入生歓迎会、離退任式、1年校外学習
	5	新体力テスト・身体計測、生徒総会、中間考査、球技大会
	6	PTA・後援会総会、保護者面談
	7	期末考査、成北未来講座（PTA主催）、終業式、ニュージーランド研修生出発（7/20NZの第1回目）、2年インターンシップ
2	8	PTA文部科学大臣表彰される 学校説明会（8/21・22）、ニュージーランド研修生帰国（8/3）、
	9	始業式、黎明祭文化の部（9/13・14）、黎明祭体育の部
	10	生徒会役員選挙、中間考査、2年修学旅行
	11	2年進路別バス見学会、防災訓練、学校説明会・公開授業、
	12	期末考査、生徒会認証式、芸術鑑賞会、終業式
3	1	始業式、大学入試センター試験、3年学年末考査、
	2	前期選抜、マラソン大会
	3	後期選抜、第33回卒業式（316名）、学年末考査、人権教育、終業式



入学式 4月



ニュージーランド研修旅行 8月



黎明祭 体育の部 9月



修学旅行（体験学習）10月



マラソン大会 出発 2月



修学旅行（首里城にて）10月

2015年

(平成27年)

1	4	新任式、始業式、第36期生入学式 (326名)、PTA入会式、離退任式、1年校外学習
	5	体力テスト、身体計測、面談週間 生徒総会、中間考査、球技大会 PTA・後援会総会
	6	保護者面談
	7	期末考査、成北未来講座 (PTA主催) 終業式 ニュージーランド研修生出発 (7/18)

2	8	ニュージーランド研修生帰国 (8/1) 学校説明会 (8/6・7)
	9	始業式、黎明祭文化の部 (9/18・19)
	10	黎明祭体育の部、生徒会役員選挙 中間考査、2年修学旅行
	11	学校説明会、防災訓練 2年進路バス見学会
3	12	期末考査、芸術鑑賞会、生徒会認証式 生徒指導講話、終業式

3	1	始業式、大学入試センター試験 3年学年末考査、
	2	マラソン大会、前期選抜、後期選抜
	3	第34回卒業式 (315名)、学年末考査 人権教育、終業式



球技大会 5月



野球応援 7月



黎明祭 体育の部 10月



マラソン大会 2月



卒業証書授与式 3月



マラソン大会 (豚汁) 2月

2016年

(平成28年)

1	4	第15代土屋俊一校長着任 新任式、始業式、第37期生入学式 (284名)、PTA入会式、新入生歓迎会、離退任式、マレーシアのS・M・K・BUKIT JELUTONG高校来校、1年校外学習
	5	体力テスト、身体計測、面談週間 生徒総会、中間考査、球技大会 PTA・後援会総会
	6	保護者面談
	7	期末考査、成北未来講座 (PTA主催) 終業式、2年インターンシップ ニュージーランド研修生出発 (7/23)



マレーシア高校来校 4月



1 学年校外学習 4月

2	8	学校説明会 (8/4・5) ニュージーランド研修生帰国 (8/6)
	9	始業式、防災訓練 黎明祭文化の部 (9/16・17) 黎明祭体育の部 (9/30)
	10	生徒会役員選挙、中間考査 2年修学旅行、AED講習
	11	学校説明会、2年進路バス見学会
	12	期末考査、芸術鑑賞会、生徒会認証式 終業式



成北未来講座 7月

3	1	始業式、大学入試センター試験 3年学年末考査
	2	マラソン大会、前期選抜、後期選抜 インターンシップ
	3	第35回卒業式 (277名)、学年末考査 人権教育、終業式



黎明祭 体育の部 9月



ニュージーランドブケコへ高校からマッキナン校長来校 11月



スポーツフェスタ PTA・職員参加 10月

2017年

(平成29年)

1	4	新任式、始業式、第38期生入学式 (324名)、PTA入会式、新入生歓迎会、離退任式、1年校外学習
	5	新体力テスト、身体計測、生徒総会中間考査、PTA・後援会総会
	6	球技大会、保護者面談
	7	期末考査、成北未来講座 (PTA主催) 終業式、 ニュージーランド研修生出発 (7/22) 2年インターンシップ



野球応援 7月



黎明祭 文化の部 9月

2	8	学校説明会 (8/3・4) ニュージーランド研修生帰国 (8/5)
	9	始業式、防災訓練 黎明祭文化の部 (9/15・16)
	10	黎明祭体育の部 (10/6)、生徒会役員選挙 中間考査、2年修学旅行 1年救助袋訓練
	11	1年普通救命講習、学校説明会
	12	期末考査、芸術鑑賞会、人権教育 生徒会認証式、終業式



黎明祭 体育の部 10月

3	1	始業式、大学入試センター試験 3年学年末考査
	2	マラソン大会、前期選抜 インターンシップ (神宮寺小)
	3	後期選抜、第36回卒業式 (316名)、 学年末考査、終業式



修学旅行 10月



マラソン大会 2月



救命講習 10月

2018年

(平成30年)

1	4	第16代弘海政信校長着任 新任式、始業式、第39期生入学式（284名）、PTA入会式、新入生歓迎会、離退任式、1年校外学習
	5	身体計測、新体力テスト、生徒総会 中間考査、球技大会 PTA・後援会総会
	6	保護者面談
	7	期末考査、成北未来講座（PTA主催） 体育館天井撤去着工 終業式 ニュージーランド研修生出発（7/21） 2年インターンシップ

2	8	学校説明会（8/2・3） ニュージーランド研修生帰国（8/2）
	9	始業式、黎明祭文化の部（9/14・15）
	10	黎明祭体育の部（10/4）、中間考査 2年修学旅行、1年救助袋訓練 生徒会役員選挙、普通救命講習
	11	学校説明会
	12	期末考査、芸術鑑賞会、人権教育学習 生徒会役員認証式・終業式

3	1	始業式、大学入試センター試験 3年学年末考査、渡部陽一氏講演
	2	マラソン大会、前期選抜 神宮寺小インターンシップ、後期選抜
	3	第37回卒業式（278名）、学年末考査 成田ニュータウン中央線開通（3/2） 終業式



ニュータウン中央線開通式 3月



入学式 4月



校外学習 4月



黎明祭 体育の部 9月



黎明祭 文化の部 9月



修学旅行 10月

2019年

(令和元年)

1	4	新任式、始業式、第40期生入学式（281名）、PTA入会式、新入生歓迎会、離退任式、1年校外学習
	5	生徒総会、中間考査、球技大会 PTA・後援会総会
	6	身体計測・身体力テスト、中学校訪問
	7	期末考査、終業式 PTA広報誌「なりきた」100号発行 ニュージーランド研修生出発（7/23） 2年インターンシップ

2	8	学校説明会（8/5・6） ニュージーランド研修生帰国（8/6）
	9	始業式、黎明祭文化の部（9/13・14）
	10	黎明祭体育の部（10/3）、生徒会役員選挙 中間考査、2年修学旅行 1年救助袋訓練、普通救命講習
	11	学校説明会
	12	期末考査、芸術鑑賞会、人権教育学習 生徒会役員認証式・終業式

3	1	始業式、大学入試センター試験 3年学年末考査
	2	マラソン大会、前期選抜 神宮寺小インターンシップ
	3	後期選抜、第38回卒業式（316名）、学 年末考査、終業式



始業式（校歌斉唱） 4月



離退任式 4月



少林寺拳法部 6月



身体計測 6月



マラソン大会（豚汁） 2月



芸術鑑賞会 12月



部活動・委員会

野 球 部

顧問 高橋 良平

野球部は現在、甲子園出場に向けて毎日練習を積み重ねています。部員に恵まれ練習の質や実際の結果が伴って来ています。また、後援会、保護者会など多くの人に支えられて活動ができています。

野球の技術だけではなく、「人間としての成長」も目的として、礼儀や挨拶、地域活動に力を入れて多くの人に関わる機会をつくることでコミュニケーション能力や豊かな表現力を育てています。朝の地域清掃活動では毎日続けることで感謝され、生徒のやる気につながり、小学校のボランティアでは年代を超えた交流をすることでリーダーシップを育てることができます。小さなことを積み重ねることで卒業後も様々な進路選択の幅が広がり、多くの分野で活躍を収めています。

現在、練習は毎日行っており、平日は基礎練習や連携の練習を中心に個人や組織の技術向上とウエイトトレーニングや可動域を意識した柔軟トレーニングなどを含んだ体力の向上に力を注いでいます。休日は試合を中心に、練習した成果を発揮できるかを試しながら目的を持って取り組んでいます。試合の勝ち負けにこだわらず、個々の成長やチームの成長を第一に考えることで生徒にフィードバックできる環境も整えています。その反省を元に生徒が考えて個々に必要な練習を自ら取り組む時間や環境が少しずつ整ってきています。勝つことにこだわりを見せる場面が見えて、今後の成長がとても楽しみです。

学校創立時から野球部はあり、今年で創部40周年になります。過去に様々な諸先輩方が築き上げてきた環境や結果などの歴史を大切にしていきながら、今後の野球部の発展に尽力していきます。また、どの年代の卒業生でも戻ってこられる野球部になり、多くの人で部活動を支えていける環境を作っていきます。このような伝統や風土を守りながら未来の成田北校生につないでいくことで更に長い歴史の成田北野球部にしていきます。

野球部の保護者会、後援会ははじめ、携わる人々に感謝、御礼を申し上げます。

【近年の主な活動実績】

- 2020夏季千葉県高等学校野球大会
3 回戦進出
- 101回全国高等学校野球選手権千葉大会
1 回戦敗退
- 100回全国高等学校野球選手権記念大会
東千葉 1 回戦敗退
- 99回全国高等学校野球選手権千葉大会
1 回戦敗退
- 98回全国高等学校野球選手権千葉大会
3 回戦進出
- 97回全国高等学校野球選手権千葉大会
3 回戦進出



応援委員会

顧問 越川 隼人

応援委員会は、夏の高校野球大会の応援を目的とした委員会で、他の委員会とは性格を異にしている。各クラス何名という割り当てがあるわけでもなく、三年生を中心とした有志の期間限定委員会ということで、委員会という名称も適当なものとはいえないかもしれない。

いわゆる「お祭り好き」の生徒たちが集まって、六月下旬から七月上旬くらいに練習が始まる。本格的な応援の経験があるわけでもなく、顧問も毎年変わるような状態で、初めのうちは要領を得ないが、そこは吸収力抜群の

生徒たちのこと、試合日程が近づいてくる危機感に追われつつ練習を重ねるにつれ、形になってくるものである。やがて、直前になって、揃いのTシャツを着て、吹奏楽の演奏と合わせてみると、結構サマになっているものだ。試合が終了し、応援を終えた生徒たちの顔は、ある種の達成感に満ちている。

しかしながら、令和2年度はコロナウイルスの流行により、野球の大会は開催されるも応援は禁止となり、活動の機会がないという年になった。



陸上競技部

顧問 堀口 光

《過去の戦績》

- 2013 女子走高跳 インターハイ 10位
(木村 彩美 予1m67 決NM)
男子走高跳 関東新人 出場
(高山 涼平 NM)
- 2014 女子やり投 関東選手権 出場
(武田 郁美 36m01)
- 2015 男子走高跳 関東大会 出場
(高山 涼平 1m95)
- 2016 女子七種競技 関東大会 出場
(北崎 芽依 3639点)
- 2017 女子やり投 インターハイ 出場
(鈴木さくら 42m31)
- 2018 女子400mH 関東大会 出場
(堀越 凜 1:03.21)
- 2019 女子400mH 関東大会 出場
(堀越 凜 1:05.60)
- 2020 高校総体中止
※NM：記録なし

《2020年度 部員数》

- 1年生 男子4名 女子4名 計8名
2年生 男子4名 女子6名 計10名
3年生 男子3名 女子3名 計6名
合計24名

◆種目ごとの内訳

- | | |
|----------|-----------|
| ・短 距 離 | 男子7名 女子5名 |
| ・跳 躍 | 男子2名 女子0名 |
| ・投 擲 | 男子0名 女子3名 |
| ・中 長 距 離 | 男子2名 女子2名 |
| ・マネージャー | 男子0名 女子3名 |



《活動時間》

- ◆平常時
月～金曜日 放課後3時間程度
土曜日 午前中
日曜日 活動なし
- ◆長期休業日
月～土曜日 午前中3時間程度
日曜日 活動なし
- ◆合宿
夏季 夏季休業中に2泊3日
春季 春季休業中に2泊3日

《2019年度 1年間の活動内容》

- ◆4月
新入生歓迎会（学校行事）
千葉県記録会（天台）
千葉県高校総体第2支部予選大会（中台）
- ◆5月
千葉県高校総体（天台）
- ◆6月
千葉県高校記録会（天台）
関東高校総体（茨城県）
千葉県選手権（天台）
- ◆8月
夏季合宿（場所：県立成東高校）
国体最終予選（天台）
- ◆9月
千葉県新人第2支部予選大会（中台）
千葉県新人大会（天台）
- ◆10月
順大記録会（順天堂大学）
- ◆11月
成田POPラン大会（中台）
スポーツ祭典（青葉の森）
スポレク玉造（玉造地域との交流）
佐倉市選手権（岩名）
- ◆1月
八街ピーナツ駅伝
- ◆2月
利根町駅伝
- ◆3月
順大記録会（順天堂大学）…中止

バドミントン部

顧問 板倉 恵一

1986年（昭和61年）に創部されたバドミントン部は1987年（昭和62年）に女子だけになり、1992年（平成4年）に男子が復活し、活躍するが、その後低迷し、2009年（平成21年）4月から再び男子部員が入り、その後バドミントン部は男女の両方が活動している。

以下県大会に出場した記録のみ記入する。

2010年（平成22年） 森田早也香・荒尾遼部長

- ・関東地区予選女子4位
- ・新人地区予選男子4位、女子2位 複式男子荒尾・清宮組

2011年（平成23年）田中大樹・清宮ゆう子部長

- ・関東地区予選男子4位 女子4位
- ・総体地区予選複式男子荒尾・清宮組 女子清宮・羽賀組
- ・新人地区予選 女子2位複式男子田中・石山組4位 女子清宮・羽賀組5位 単式男子田中大樹5位 女子清宮ゆう子5位

2012年（平成24年）新井晴貴・加藤未久部長

- ・関東地区予選男子4位 女子3位
- ・総体地区予選単式女子清宮ゆう子3位
- ・新人地区予選女子4位 複式男子新井・大島組

2013年（平成25年）森田真衣部長

- ・関東地区予選男子3位 女子4位
- ・総体地区予選男子単式新井晴貴2位
- ・新人地区予選女子2位 複式女子中村・森田組3位、星・甲田組4位

2014年（平成26年）黒川佑悟・甲田千尋部長

- ・関東地区予選女子3位
- ・総体地区予選複式女子中村・森田組4位 単式女子中村紗耶樺5位
- ・新人地区予選男子4位、女子3位 単式女子甲田千尋4位

2015年（平成27年）高橋侑也・本間美紗樹部長

- ・関東地区予選男子4位 女子4位

- ・新人地区予選団体男子4位 複式男子高橋・村上組3位 単式男子高橋侑也

2016年（平成28年）川口健太・和田優香部長

- ・関東地区予選男子3位
- ・総体地区予選複式男子村上・高橋組3位
- ・新人地区予選団体男子2位 複式村上・伊藤組4位内海・大蒲組4位 単式男子3位伊藤大悟、5位堀越翔

2017年（平成29年）上田遼・酒井雪乃部長

- ・関東地区予選男子1位、女子2位
- ・総体地区予選複式男子伊藤・川口組2位、稲田・村上組3位、小山・堀越組5位 単式堀越翔1位、伊藤大悟2位、村上匠真3位
- ・新人地区予選団体男子3位、女子1位 複式男子稲田・菅澤組1位、女子酒井・細淵2位、岡・川名部3位 単式男子稲田遼5位、岡実咲希5位

2018年（平成30年）菅澤健太・岡実咲希部長

- ・関東地区予選男子2位、女子1位
- ・総体地区予選複式男子稲田・菅澤組2位女子岡・川名部組1位単式男子稲田凌1位岡実咲希3位酒井雪乃4位木下奈津美5位
- ・新人地区予選男子1位、女子1位 複式男子稲田・菅澤組1位、女子岡・川名部組1位、木下・森澄組5位 単式稲田凌1位、菅澤健太4位、女子岡実咲希3位、木下奈津美4位

2019年（令和元年）照喜名朝人、湯浅光奈部長

- ・関東地区予選男子1位、女子2位
- ・総体地区予選複式男子稲田・菅澤組1位、大平・神崎組3位 女子岡・川名部1位木下・森澄組4位 単式稲田凌1位、女子岡実咲希3位
- ・新人地区予選 男子2位 女子2位、複式男子照喜名・大平組4位、木下・森澄組2位、奥田・佐々木組6位 単式大平儒聖2位、清宮翔吾4位 木下奈津美1位



テニス部

前顧問 訪 哲

平成23年度に着任し令和元年度までの9年間、テニス部の顧問として指導し、この間の部員たちの活躍（県大会）を記載する。

平成23年度

県総体 団体戦 1回戦 1 - 2 (対市立千葉)

県新人 団体戦 1回戦 2 - 1 (対千葉南)

2回戦 0 - 2 (対市立千葉)

平成24年度

関東県 団体戦 1回戦 2 - 1 (対安房)

2回戦 0 - 2 (対船橋啓明)

ベスト16

県総体 団体戦 2回戦 2 - 1 (対茂原樟陽)

3回戦 2 - 0 (対野田中央)

4回戦 0 - 2 (対東邦大東邦)

ベスト16

個人戦シングルス 1回戦

田苗伸敬 4 - 6 (対暁星国際 村松)

個人戦ダブルス 1回戦

田苗・岩本 0 - 6

(対八千代松陰 下村・本郷)

平成25年度

県総体 団体戦 1回戦 2 - 1 (対長生)

2回戦 0 - 2 (対幕張総合)

県新人 団体戦 2回戦 0 - 3 (対薬園台)

平成26年度

県総体 団体戦 1回戦 2 - 1 (対君津青葉)

2回戦 0 - 3 (対市立稲毛)

県新人 団体戦 1回戦 2 - 1 (対千葉南)

2回戦 0 - 2 (対市立千葉)

平成27年度

県総体 団体戦 1回戦 2 - 1 (対市立松戸)

2回戦 0 - 3 (対麗澤)

県新人 団体戦 1回戦 0 - 5 (対麗澤)

平成28年度

県新人 団体戦 1回戦 0 - 3 (対千葉英和)

平成29年度

県総体 団体戦 2回戦 1 - 2 (対野田中央)

個人戦シングルス

1回戦 海老原 隆晴 6 - 0

(対安房拓心 桑原)

2回戦 海老原 隆晴 3 - 6

(対学館浦安 吉田)

個人戦ダブルス

1回戦 深澤・海老原 3 - 6

(対拓大紅陵 坂上・河野)

1回戦 千葉・廣田 3 - 6

(対学館浦安 松尾・高崎)

県新人 団体戦 1回戦 0 - 5 (対東邦大東邦)

個人戦シングルス

2回戦 海老原 隆晴 1 - 6

(対秀明八千代 大橋)

個人戦ダブルス

1回戦 海老原・川瀬 3 - 6

(対秀明八千代 加藤・三角)

平成30年度

県総体 団体戦 1回戦 0 - 3

(対東海大市原望洋)

個人戦シングルス

1回戦 海老原 隆晴 3 - 6

(対秀明八千代 大川)

県新人 団体戦 1回戦 1 - 4 (対東邦大東邦)

令和元年度

県総体 団体戦 2回戦 1 - 2 (対千葉日大一)

県新人 団体戦 2回戦 3 - 2 (対市立銚子)

3回戦 0 - 3 (対船橋芝山)

個人戦ダブルス

1回戦 秋山・窺 3 - 6

(対渋谷幕張 廣瀬・藤本)



サッカー部

顧問 村田 馨

チーム方針

- ①チームに関わる全員が成長する
- ②応援されるチームになる
- ③Familyになる

上記の方針のもと活動をしています。

見る人を感動させられるようなサッカーができるよう日常での活動を大切にしながら練習に励んでいます。

保護者会、OB会を立ち上げ、世代を超えた関わりを広げ、成田北高校サッカー部の卒業生が誇れる故郷と思える環境を作っていきたいと考えています。

現在に至るまでに多くの指導者、卒業生、保護者の皆様がサッカー部の活動に御尽力、御協力いただいたことと思います。

素晴らしいチームを引き継がせてもらったことに感謝し、また次の世代へと繋いでいきたいと思っています。

【近年の活動実績】

平成28年度

総合体育大会県大会出場
新人戦県大会出場
県4部リーグ（9／14位）

平成29年度

総合体育大会県大会2回戦進出
新人戦県大会2回戦進出
県4部リーグ（4／12位）

平成30年度

総合体育大会県大会出場
新人戦県大会出場
県4部リーグ（2／7位）

令和元年度

新人戦県大会出場
県4部リーグ（5／12位）



バスケットボール部

顧問 白水 洋平

現在バスケットボール部は指導者や部員が充実し、恵まれた環境で活動を行っている。ここまでバスケットボール部の環境作りをされた歴代の顧問の先生方には頭が下がる思いである。

毎年男子部員は10人、女子部員は5人程度入部し、約30人程度で活動し、各歴代のチームが立てた目標にそれぞれ向かい、努力している。主体的に行動し、仲間を思いやるをモットーに日々の練習に全力に取り組んでいる。

私が赴任してからここ4年間で男子バスケットボール部は県大会ベスト32を4度、女子バスケットボール部は県大会出場を1度果たした。しかしながら彼らが立てた目標に毎年、一步届かずにいる。

日々の活動内容は最近、毎年のようにルールが変化するため新しいルールに順応しながら技術指導・戦術・体の使い方などを細かく指導している。平日は4日間活動し、体力作り、筋力トレーニング、個人の技術向上を主に行っている。休日は練習試合を頻繁に行い、戦術を磨いている。部員は学んだことを遅くまで体育館に残り、自主練習に励んでいる。またスマートフォンを活用し、練習や試合のビデオを撮影し、自分の改善点を探るなど向上心に溢れている。今後の成果に期待したい。



バスケットボールは関東予選・県総体・新人大会・ウィンターカップと多く大会があり、これらの大会の間にも地方大会が多々千葉県では行われている。その中で戦っていくには、より豊富は経験が必要である。長期休業中は積極的に練習試合合宿を行い、どんなコンディションでも対応でき、よいパフォーマンスが発揮できるように取り組んでいる。

地域にも恵まれ、印旛郡市の多くの中学校と合同練習や練習試合を行い、連携を図っている。また保護者の方々には様々な面でご支援とご協力をいただいております、感謝の気持ちに堪えません。今後ともよろしくお願い致します。



<近年の主な活動実績>

- ・男子バスケットボール部
 - 平成31年度 総合体育大会 県ベスト32
 - 平成31年度 関東高校バスケットボール選手権大会 県ベスト32
 - 平成30年度 総合体育大会 県ベスト32
 - 平成30年度 関東高校バスケットボール選手権大会 県ベスト32
 - 平成29年度 総合体育大会 県大会出場
- ・女子バスケットボール部
 - 平成30年度 総合体育大会 県大会出場

剣道部

顧問 八木 愛梨

令和2年8月現在、男子9名女子2名で活動しています。私は令和元年度より剣道部の顧問になりました。競技経験や専門的知識のない私が顧問になったのは、前任者の床枝あかね先生（現四街道北高校）とのご縁によるものです。床枝あかね先生をはじめ、歴代の顧問の先生方が生徒だけでなく私のことも気にかけてくださり、日々学ばせていただいています。今年度からは、古出風美香先生と高橋薫先生が顧問に加わりました。より良い環境で活動ができていのように感じます。また、保護者の方々には日頃から様々な面でご支援とご協力をいただいています。心から感謝いたします。

剣道部の日々の練習は、基本的には生徒達が話し合ってメニューを決めるようにしています。練習時間は平日が最大2時間、週末は土曜日に3時間です。平日、7限のある日は体幹トレーニングを行います。最近は、プロジェクターとスクリーンを借りて、トレーニング動画をみながら行うことが多いです。新型コロナウイルスの影響で行った約3ヶ月間の休校が明けたときには、生徒達の筋力不足や身体の硬さが深刻でした。各自素振りをするなどしていたようですが、これだけ長い期間剣道をできなかったことが無いので、戸惑っただろうと思います。今は少しでも早く平穏な日々が戻ることを願って、また秋には新人戦が開催されることを信じて、練習に励みます。

現在剣道部の目標は、男子が県ベスト16、女子が県ベスト8に入ることです。令和元年度の千葉県総体では県大会出場という目標を達成したので、当時の記録を超えられるように頑張ります。ただ女子に関しては、団体戦のために5人揃うことが目下の目標となっています。

今年度の3年生は千葉県総体が中止になり、そのまま試合をせずに引退しました。1、2年生にはどうか、精一杯最後まで思い切り剣道をやりきってもらいたいです。そして卒業生が誇りに思えるような成田北高校剣道部であり続けたいと思っています。ご支援をよろしくお願いします。



少林寺拳法部

千葉商業高校 佐藤 敏之 / 佐原高校 鬼澤 昌宏

少林寺拳法部の歩み

平成二年四月に佐倉南高校少林寺拳法部監督の大木卓教諭が成田北高校に転勤して、生徒たちに声をかけ1、2年生8名で少林寺拳法同好会を設立した。当時は練習場所も無く、体育館のステージ上で、ジャージ姿の見習い拳士たちが、まるで、よちよち歩きの赤子のような動きで練習をしていた。他の生徒からは、何部？何やってるの？という声をよく聞いた。手本となるのは監督のみで、自分の動きや、この先どのように変わっていくか、目標となる先輩もいなかったし、武道の本質すらもよくわかっていなかった。そのような中、皆で切磋琢磨し、創部二年目の千葉県大会で最優秀、平成八年、関東大会で最優秀を頂いた選手もいた。その同好会の第一期生が、現在部のコーチをしている松崎秀規コーチである。平成十年大木監督の転勤により、部員がゼロとなり、しばらく休眠状態が続いた。

平成十一年、佐藤敏之教諭が着任し、自身が1年前から少林寺拳法を始めていたこともあり、転勤2年目の平成十二年、同好会を復活させる形で再始動となった。このとき、指導者の佐藤教諭は初段であり、その当時所属していた千葉山王道院の箕輪道院長に監督を引き受けていただいた。再始動当初の部員は実質四名であったし、佐藤教諭も大会中心の部活動での少林寺拳法のあり方がわからず、大会に出場しても毎回最下位の状態であったが、徐々に生徒も大会での入賞を目指すようになったため、年々成績も上昇し、平成十七年には、規定組演武で津田・渡邊組が全国大会に出場し、6位入賞を果たすことができた。また、その翌年には女子団体演武での全国大会出場も果たすことができ、決勝に進出するまで成長した。その後は、毎年、全国大会に出場することができた。佐藤教諭は、平成二十一年千葉商業高校へ転勤し、鎌田教諭が顧問を引き継いだ。佐藤教諭はその後2年間にわたり、休日の練習を指導していた。そして、平成二十一年、関東選抜大会男子単独演武で3位に入賞した工藤篤が第13回全国選抜大会に出場した。

平成二十二年に鬼澤昌宏教諭が転勤してきた。その年の県総体で川口真奈美主将の率いる女子団体演武が関東大会14連覇中の成田国際高校を破って初優勝した。そして第41回関東大会で6位、第37回全国大会（深谷ビッグタートル）で14位になった。平成二十三年、秋山沙月主将の率いる女子団体演武も関東大会で6位、秋山自身も女子単独演武で第42回関東大会2位、第38回全国大会（少林寺拳法本部）で12位になった。平成二十五年、第44回関東大会で石川未歩率いる女子団体演武で北高最高の5位に入賞した。平成二十六年、第45回関東大会で戸村菜々帆率いる女子団体演武6位、塚本翔太率いる男子団体演武で7位になった。また、この年インターハイ種目となって初めての大会が、地元の成田市中台体育館で行われた。女子組演武で戸村菜々帆・池上茉奈美組が3位、男子単独演武で大場太貴が7位、石川恭輔が11位になった。第17回関東選抜大会男子単独演武で3位に入賞した齋藤友貴が第18回全国選抜大会に出場した。平成26年度末異動で鬼澤教諭が佐原高校に転勤し、後任の顧問は、林綾音教諭になった。平成二十九年、第20回関東選抜大会男子単独演武で3位に入賞した石田啓介が第21回全国選抜大会に出場した。令和元年、第50回関東大会女子単独演武で岩城ゆいが2位になった。以上のように少林寺拳法部は、三十一年間でここまで成長することができた。今後も発展させていきたい。



インターハイ組演武3位の
池上茉奈美・戸村菜々帆組

バレーボール部

顧問 三上 茂、佐々木香織

【 男子 】

男子バレーボール部は、平成二十二年度から三十一年度まで、入部者が少なく、チームを組めない時期が多々ありました。生徒自身が練習メニューを決め、活動していくには限界があり、中々結果がでない状況が続きましたが、以前本校でバレー指導をされていた向先生が顧問となり、バレーボールの基礎を熱心に指導してきました。その努力が実を結び、三十一年度の県大会に出場することができ、生徒にとっても貴重な経験となりました。現在は部員がおらず活動はしていませんが、志が高く、バレーが好きな生徒が多数集まることができれば、さらに良いチームができると感じています。

《近年の活動実績》

平成24年度	総体県大会出場 新人戦県大会出場(成田国際との合同チーム)
平成25年度	総体県大会出場 新人戦県大会出場(成田国際との合同チーム)
平成26年度	総体県大会出場 新人戦県大会出場(成田国際との合同チーム)
平成27年度	関東大会県予選地区大会出場 総体地区予選出場 成田市近隣高校バレーボール大会出場 新人戦地区大会出場
平成28年度	関東大会県予選地区大会出場 総体地区予選出場 成田市近隣高校バレーボール大会出場 新人戦地区大会出場
平成29年度	関東大会地区予選出場 総体県大会出場(2回戦) 新人戦地区予選出場
平成30年度	総体県大会出場 新人戦地区予選出場 成田チャンプ(9)
令和元年度	関東大会県予選出場 総体県予選出場 新人戦県予選出場 成田チャンプ



【 女子 】

女子バレーボール部は、この十年間三上茂先生が監督です。体力・技術の向上だけでなく、バレーボールをとおして、礼儀作法や自分に打ち勝つ強い精神力、また相手を思いやる心、そして仲間と協力することの大切さを教えてきました。その努力が実を結び、地区大会では常に上位争いをして県大会出場常連校となっています。

平成二十九年度は、入部者0人となり、女子バレー部存続の危機に陥りそうになりましたが、少ない人数の中、他校と合同チームを組み、県大会出場を確保してきました。現在は部員も十名を超え、顧問と生徒一丸となって日々練習に取り組んでいます。

《近年の活動実績》

平成24年度	関東大会県予選(ベスト32位) 総体県予選(ベスト32位) 新人戦県予選
平成25年度	総体県大会出場 新人戦県大会出場 岩村杯ベスト8位
平成26年度	総体県大会出場 新人戦地区大会優勝・県大会出場 岩村杯第3位
平成27年度	関東大会千葉県予選会場出場 総体県大会推薦出場 新人戦地区大会優勝・県大会出場
平成28年度	関東大会千葉県予選・県大会ベスト32位 総体県大会推薦出場・ベスト32位 新人戦地区大会優勝・県大会ベスト32位 成田市民大会優勝 伊勢田カップ第3位 茂原カップ第3位
平成29年度	関東大会千葉県予選・県大会ベスト32位 総体県大会推薦出場・ベスト32位 新人戦地区大会優勝・県大会ベスト32位
平成30年度	関東大会千葉県予選・県大会ベスト32位 総体県大会推薦出場・ベスト32位 新人戦地区予選出場
令和元年度	関東大会県予選出場 総体県大会予選出場(合同チームにて) 新人戦県大会出場(合同チームにて)



ハンドボール部

顧問 越川 隼人

1999年にハンドボール愛好会として活動を開始し、2001年部活動へと変わりました。

現在、ハンドボール部は男子部員18名、女子部員1名の計19名で活動しています。毎年未経験の顧問が就くことが多く、生徒との関係を1から築き、生活態度や部活動の一員としての自覚が芽生えるよう指導しています。

日々の活動内容は、身体の使い方やステップの踏み方、ポジションの取り方を意識し練習をしており、週に6日活動しています。専門的な指導をできないため、生徒が主体的となり練習に取り組んでいる。今年は、「県大会に出場する」という目標を持ち、日々の練習に励んでいます。

保護者の方々には、様々な面でサポートしていただき、感謝の気持ちに堪えません。今後ともよろしくお願いいたします。

【近年の主な活動実績】

・男子ハンドボール部

平成24年度

総合体育大会県大会ベスト16

県ジュニア大会ベスト16

平成25年度

総合体育大会県大会出場

平成26年度

総合体育大会県大会出場

平成27年度

総合体育大会地区予選出場

平成28年度

総合体育大会県大会出場

ジュニア大会決勝トーナメント進出

平成29年度

総合体育大会県大会出場

ジュニア大会決勝トーナメント進出

平成30年度

総合体育大会県大会出場

平成31年度

総合体育大会県大会出場

・女子ハンドボール部

平成24年度

関東県大会ベスト16

新人県大会ベスト8

県ジュニア大会ベスト16

平成25年度

総合体育大会県大会出場

県ジュニア大会ベスト8

平成26年度

総合体育大会県大会出場

1年生大会ベスト8

新人戦県大会出場

平成27年度

総合体育大会県大会出場

1年生大会ベスト8

ジュニア大会決勝トーナメント進出

平成28年度

総合体育大会地区予選出場

平成29年度

総合体育大会地区予選出場

平成30年度

新人戦県大会出場

平成31年度

新人戦県大会出場



女子サッカー部

顧問 加藤 美優

1992年より発足し、今年で19年目を迎えます。平成22年度には、千葉県高等学校総合体育大会サッカー女子の部・千葉県高等学校女子サッカー選手権大会で3位入賞、平成23年度には、千葉県高等学校新人大会サッカー女子の部で準優勝、平成28年度には、千葉県高等学校新人大会ベスト8などの好成績を収めてきました。

今日、なでしこジャパンの活躍もあり、女子サッカー界を取り巻く環境が変化し、変革の時期を迎えています。千葉県内の女子サッカー部として、歴史の古い成田北高校の女子サッカー部は、女子サッカーの普及を担う一端として、成田市主催の女子サッカー大会に参加するなど、地域とのつながりも深めています。

高校に入学後、初めてボールを蹴るところからスタートし、サッカーという競技を通して、チームスポーツの楽しさや、難しさを学んでいます。父母会から寄贈して頂いた横断幕に書かれている「美しく勝利せよ!!」の下、全員が日々、向上心を持って切磋琢磨しながら練習に励んでいます。歴代の顧問の先生方、父母会を始めとする保護者の方々や地域サポーターの方々に感謝しながら、今後も飛躍できるよう、活動していきたいと思えます。



ゴルフ部

顧問 車 芳郎

本校ゴルフ部は、関東高等学校中学校ゴルフ連盟の東関東地区に所属する。東関東地区高ゴ連は、千葉県が公立4校・私立9校、茨城県が公立1校・私立8校の計22校で構成される。本県では、現在活動中の印旛明誠高校、多古高校、そして成田北高校の公立勢に加え、全国大会常連校として東関東地区をリードする西武台千葉高校、拓殖大紅陵高校をはじめ、プロゴルファー池田勇太を輩出した千葉学芸高校などの私立校が名を連ねる。

本校もかつては、全国および関東大会に毎年のように駒を進める公立の強豪校であったが、平成18年を最後に出場が途絶えている。その後は、常時10人近くいた部員も年々その数を減らし、ここ数年は毎年2・3人で何とか部を維持しているという状況である。部活動そのものの加入率が下がっていることも理由の1つと考えられるが、競技の特殊性もある

ろうかと思う。

しかしながら、創部当初から引き続き練習の場を提供してくださる「ベストゴルフ」の恩に報いるべく、40年の歴史を持つゴルフ部の灯を絶やすことのないよう、今後も活動を続けていく所存である。

そして願わくは、今一度かつてのように全国大会に出場する選手を輩出したい。



ソフトテニス部

顧問 椎名 良恵

現在は3年生2名、2年生7名、1年生9名の女子部員だけの部活になってしまっている。かつては男子部員がインターハイに出場するほど熱心に活動していたが時代の流れの中で男女とも消滅してしまった。しかし、10年ほど前に数名の女子がソフトテニスをしたと言い、当時の顧問を説得して再開したと聞く。再開当時は4人で始まり、ほのぼのとした雰囲気の中で活動していた。その後地区大会にも出場するようになり、徐々に部員も増え、県大会にも連続出場できるチームへと育っていった。

練習環境にも恵まれ砂入り人工芝コート1面とクレーコート2面を有す。熱心に活動する部員たちがトレーニングを兼ねたローラー引きでクレーコートも比較的良好な状態を保つことができている。だが、そのように丁寧なコート整備をしても時の経過とともに

ラインが剥がれ、水はけが悪くなり、公式戦で使いたいという申し出も断らなければならない状況になってしまったことが残念である。40周年を機にコート改修を願う。

平成29年度の地区新人大会では1位で県大会出場を決めた。平成30年度県総体団体戦では3回戦、令和元年度県総体団体戦でも日頃の練習の成果を発揮した。今まで応援して下さいました全ての方々に感謝し、今後もソフトテニス部部員一同努力を続けて参ります。



卓球部

顧問 澤井 博司

現在卓球部は男子9名女子8名で活動している。本年度は新型コロナウイルス感染症のため3年生最後の公式試合である総体と関東大会の中止が決定し、3年生にはつらい1年となった。昨年度は女子が新人戦で団体戦ベスト16になるなど男女ともに活発に活動しており、さらなる活動が見込まれていただけに、実に残念である。しかし新人戦の地区予選は開催予定であり、1年生と2年生が活躍し、昨年度以上の成績を残せるよう頑張ってもらいたい。



弓道部

顧問 青木 治毅

私が赴任してから弓道部は、中台運動公園の体育館にある弓道場で活動をしている。本校には弓道場がなく、中台の弓道場を利用する他団体との兼ね合いで、平日は月・水・金のみ的に向かって弓を引くことが出来る。限られた練習時間で如何に、技能を向上させることが出来るか常に模索しながら取り組んでいる。

「出来ることを全力で」をモットーに部員、顧問一丸となって取り組んでおり、各種地区大会を抜け、県大会への出場も果たしている。



空手道部

顧問 藤田 文行

空手道部は、昭和63年に「空手道愛好会」として発足した。成田北高校21年目の平成11年から、その当時の顧問の所属する流派が「賢友流」だったため、「賢友流」に従った練習が行われていた。平成19年からは空手の専門的な指導者が不在となったため、廃部を検討したが、部員の強い希望で存続することになった。ただし、地域の「道場」に通うことを条件とした。

慢性的な部員不足に加え、専門的な指導者がいない、複数の道場出身者が混在する等、いろいろと大変なことがあり、毎年廃部の危機に瀕している。



柔道部

平成15年度顧問を務めた小嶋昇先生の時盛んであった柔道部は部員数に悩まされ、平成22年柔道部顧問の半田勉先生と石倉裕之先生が頑張って存続させていた。どの年の柔道部員も熱心でコツコツと練習し、強豪校にも引けをとらなかった。

平成25年

新人戦女子48キロ

ベスト8

平成26年

総体地区男子86キロ

ベスト4

平成27年

総体地区男子100キロ

参加

平成28年以降

公式戦に参加せず。



書道部

顧問 中基 真弓

平成27年度までは松永博一先生が顧問をされており、5月高野山競書大会、9月黎明祭、10月表参道開運書道展、2月成田地区高等学校書道展への作品制作を主な活動としていた。平成28年度からは中基がほぼ同じ活動内容を引き継ぎ、高野山競書大会に代えて、黎明祭に書道パフォーマンスと11月千葉県高等学校総合文化祭書道作品展を加え、その他参加できる範囲で各種公募展にも出品している。

作品制作以外の活動では、平成28年4月、国際交流で来校した32名のマレーシアの高校生に、日本の筆文字文化を紹介する部活動体験を実施した。また平成29年12月は玉造小学校の依頼で2日間書き初め指導に出向いた。部員5名で児童の作品を添削指導するにあたり、事前に小学生の課題を十分練習して臨み、堂々とした先生ぶりを発揮した。さらに平成30年12月には成田市の依頼を受け、市道ニュータウン中央線松崎川に架かる三本の橋の橋名板5枚の文字を、部員3名で分担して

書いた。地域に貢献すると共に後世に残る書となったことはとても光栄なことである。

書道は常に自分と向き合う地味な活動のためか、年々部員数が減少し存続の危機を感じているが、今現在いる強い意志を持った部員達と、常に書く楽しさ・表現する喜びを実感出来る活動にしていきたいと思う。



茶 道 部

顧問 内野 由佳

茶道部の歴史は長く、学校創立当初は必修クラブだったが平成二年度より同好会となり、平成十一年度に部に昇格し現在に至る。創立当初から平成十五年度までは表千家茶道の岡嶋ふじ子先生に、平成十六年度からは表千家茶道の大堀由子先生に、平成二十四年度からは表千家茶道の五井野孝子先生にご教授いただいている。

茶道部の令和二年度の部員数は七名、その内訳は三年生が二名、二年生が三名、一年生が二名である。活動日は水曜日と金曜日の二回、お稽古に励んでいる。特に水曜日は、先生から直接ご指導をいただく貴重な時間となっている。金曜日は先生からご指導いただいた内容をおさらいする時間を設けたいという部員の声から始まり、平成二十四年度より行っている。



毎年文化祭では、日頃の練習の発表の場としてお茶席を設け、お点前を披露している。また校内の活動の他に、千葉県高等学校文化連盟茶道部会による総合交流茶会や地区交流茶会に参加している。平成二十四年度は総合交流茶会で呈茶校を務めた。

初心者として入部する生徒が多いが、卒業時には「表千家茶道初級免許状」を取得するまでに上達する。先生による熱心なご指導と、それを真摯に受け止めお稽古に励む部員の練習の成果だと思う。今後も茶道という素晴らしい日本の伝統文化を理解し、受け継げるように精進する茶道部であってほしい。



吹奏楽部

顧問 酒井 信行

吹奏楽部の活動も今年で39年目を迎える。創部時代に部員であった方々にはPTAとして今でも活動を支えていただいております大変ありがたいかぎりである。この10年間は最大で20数名と部員が少なく部活動としては厳しい状況が続いたが、部員たちの熱意と行動力に支えられ地道に活動を続けてきた。例年の年間活動内容は次のとおりである。

- 4月 入学式演奏
- 5月 PTA総会演奏
- 6月 定期演奏会
- 7月 野球応援・神宮寺祭り・
県吹奏楽コンクール
- 9月 黎明祭
- 10月 玉造敬老会
- 11月 成田ブラスの祭典・
アンサンブルコンテスト
- 1月 印旛地区高校音楽祭
- 3月 玉造YOU遊ミュージック

これらの行事以外にも三校合同スプリングコンサート（ユアエルム）、老人ホームへの慰問演奏（ケアパートナー成田）、東日本大震災の復興支援を目的とした「ぬくもりコンサート」、また2017年には部員の発案で10数年間途絶えていた定期演奏会を復活させることができた。これらの活動を通し部員たちは音楽のもつ力を理解し社会に貢献できたことで多くのことを学び自らの心身の成長につなげてくれたことと思う。部員たちの頑張りを讃えとともにこのような機会を与えてくださった多くの方々に感謝したい。

今、日本はコロナ禍の厳しい状況の中にある。東日本大震災の時もそうであったようにこのような時こそ人々を和ませ勇気づけるものが求められる。一日も早く通常の部活動にもどり成北吹奏楽部のサウンドがより多くの人々の心を癒し、頑張りを支えてほしいと願っている。



軽音楽同好会

顧問 澤井 博司

軽音楽同好会は、本校創立6年目の昭和60年から活動を開始した。平成18年4月からは、部活動の内容がほぼ同じだということで、それまであったフォークソング同好会と合併した。それにより、名称は「軽音楽同好会」のままに、会員も増えて、新たな体制で再出発した。いまだに「同好会」ではあるが、長年の活動の中で多くの会員を擁し、本校の課外活動の一つとして根付いてきている。

活動形態は、まずバンドを組むことを基本とし、日常はそのバンドごとに集まり、練習をしている。女子更衣室と普通教室2か所が練習場所であり、日々各自が技術の向上を目指して真剣に練習に励んでいる。節目のイベントとしては、まず各学期末の校内ライブがある。日ごろの練習の成果を発揮し、同好会の存在をアピールする場となっている。また、文化祭では、自分たちで演奏用機材を手配するなど自主的に運営に取り組んで、バンドごとにライブを実施し、軽音楽同好会から1つだけバンドを選び、文化祭のオープニングでも演奏している。校外では、地元玉造の地域行事「YOU遊（ゆうゆう）音楽祭」に有志で

参加している。それには第1回から出場している。

運動部で汗を流し活動するのも高校生らしい姿かもしれない。しかし、楽器を持ち友人と演奏し、自分を表現するのも今しかできない青春である。私自身も高校・大学とバンド活動に勤しんできた。その中で数多くの人と出会うことができ、良くも悪くも様々な経験をした。その中で演奏の技術だけでなく、人としても成長することができた。軽音楽同好会の生徒に同じように様々な経験を通し、成長し周りから信頼されるような人になってもらいたい。



ダンス同好会

顧問 寺内 美紀

平成24年度に「ダンス同好会」と名称を改めました。現在、総勢45名で週3回活動しています。黎明祭文化の部でのステージ発表や加良部祭り、玉造遊you musicなど、地域のイベントにも参加しています。令和2年度は黎明祭が中止となり、ダンス同好会の発表は

規模を縮小して行いましたが、例年通り多くの生徒が見に来てくれました。3年生も最後の発表ができ、悔いなく引退することができました。これからも周囲から応援され、愛される同好会として継続していくことを願っています。



美術部

顧問 細見 由衣

美術部では展覧会への出品を目標に日々制作に取り組んでいます。毎年、8月に印旛地区高等学校美術工芸作品展、11月に千葉県高等学校総合文化祭に出品しています。2018年には全国総合文化祭美術工芸部門（信州総文祭）に出場しました。

上記以外にも積極的に出品・応募を行い、2011年には「学展」最優秀学校賞、2019年に

は読書感想画で優秀賞を獲得しました。美術部は少人数ながらもお互いの意見を交わしながら制作しています。今後も自己とその表現に向き合い、作品を生み出して続けてほしいと思います。



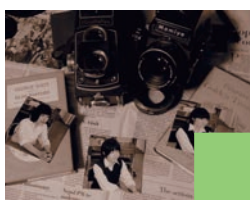
写真部

顧問 澤井 博司

現在、部員1年生4名、3年生3名の計7名で活動している。

本校の写真部は文化祭で1年間かけて撮影した作品を展示するのみの活動だったが、2017年から千葉県高等学校総合文化祭・合同写真展に作品を出展している。大きな賞を受賞したことはないが、芸術としての写真を撮る大変さや面白さを感じている。

今やいつでもどこでも写真を撮り、それを確認できる便利な時代になった。その写真を作品として現像し、額縁にはめ展示する。それだけでただ日常を撮った写真が、作品として生まれ変わる。ぜひ皆さんもその感動を写真部に入って味わってほしい。



イラストレーション同好会

顧問 奈良部真樹子

毎週月・木曜日に視聴覚室でイラストを描いています。平成22～29年度までの活動の詳細は不明ですが、平成30年度は前年度末に上級生が退部したため2年に進級したばかりの生徒7名を中心に手探りで活動しました。平成30・令和元年度は学期ごとに各自の作品を部内誌『下克上』にまとめ、黎明祭文化の部では『Dust Box』を作成・販売しました。また平成30年度は神宮寺小学校から千把が池（本校グラウンドの昔の姿）の昔話を紙芝居化する依頼を受けて制作、小学生対象に上演され、地域のTV番組でも取り上げられました。



パソコン同好会

顧問 加瀬 徹

パソコン同好会の主な活動は、文化祭で自分たちの作ったゲームを展示することです。以前は大勢の部員がいたのですが、現在は5名です。時代の流れでしょうか、現代の若者はほとんどスマホで事足りているので、パソコンに興味がなくなったのかもしれませんが。しかし、実務ではまだまだパソコンのスキルが要求されますし、パソコンはうまく使えば生活の質が向上します。また、プログラミングはそれ自体楽しいし、コンピュータの動作原理にも精通できますので、是非、多くの生徒にパソコン同好会に入って欲しいと思っています。



合唱同好会

顧問 玉崎 智子

創設は昭和59年。ピアノもない練習室で活動は始まった。平成20年代後半、行事における校歌披露、文化祭ミュージカル発表、慰問や地域活動を目的とし、年によっては20数人の部員となり、平成27年地区音楽会ではピアノと和楽器篠笛を伴奏とし合唱30名で参加した。しかし合唱というのは高校の部活動ではあまり人気がなく本校も例外ではない。年度により部員数変動は著しく少人数で絶えず存続の危機に晒されている。音楽の迫力ではなく、繊細さの中にある強さに魅力を感じる今日この頃、「素敵な時を過ごしましょう」という先代の意味を継ぎ、これからも細々と活動を続けていきたいと思っている。



調理同好会

顧問 佐々木 香織

調理同好会は、食べることが好きな人、料理好きな人が集まって活動しています。

人数は多くはありませんが、楽しく活動しています。食事はバランス良く摂ることも大事です。それらを含め、食事のマナーや日本の食文化も教えています。お菓子はもちろんですが、季節に合わせた行事食なども調理しました。

活動としてはまだこれからです。食事をとおして、色んなことを学んでほしいと思っています。



科学部

顧問 堀口 光

《主な活動内容》

・2019神小おもしろ実験室

- ① 気体の不思議 (小5・6)
- ② 厚紙ブーメラン (小5・6)
- ③ バスボム (小3・4)
- ④ マイナス温度の世界 (小3・4)
- ⑤ スライム (小1・2)
- ⑥ 台所の科学 (小1・2)

神宮寺小学校の児童対象に科学部員が様々な実験を行う。毎年、各学年20名程度の希望者が集まる。(小1・2年生は保護者同伴)



体 育 委 員 会

顧問 高橋 好正

本委員会としては、毎年恒例の体育行事の企画・運営を中心に活動を進めています。ここでは、ある年の各種行事を覗いてみます。

<球技大会> 平成25年度 担当職員 島田朋彦、吉田豊他

1. 目 的 スポーツを通じて心身の発達を促し、体力の向上を図ると共にクラスの団結心と絆を深め協調性ある態度を育む。
2. 日 時 平成25年 9 月26日（水）
3. 競技内容（男子：バドミントン、バスケット、サッカー、ソフト、卓球）
（女子：バドミントン、バスケット、卓球、ドッジボール）

（行事を終えての生徒の意見）

長縄では、男女比によって有利、不利が生じている。また、苦手な人がいるクラスは絶対的に不利である。全体を盛り上げる意味でも、鳴り物を認めるなど、担任が負担している飲み物ぐらひは学校で出しても好いのではないか。

<黎明祭体育の部> 平成29年10月 6 日（金）

担当職員 橋本祥子、北林峰明他

1. 企画、運営 生徒会と体育委員会の合同による
2. 種目（全11種目）

- ・個人種目 ・80_m走・飴食い二人三脚競争
・障害物競走・借り物、借り人競争
- ・団体種目 クラス対抗リレー予選・
クラス対抗リレー決勝・大縄跳び・ムカデ競走（3年生）・台風の目（2年生）・
綱引き（1年生）

（行事を終えての生徒の意見）

メンバー表を作ってほしい。台風の目では、クラス間が近く危ない。綱引きの連続はかなりきつい。騎馬戦をやりたい。進行は生徒会がよいのでは。成北体育祭最高



<マラソン大会> 令和元年度 担当職員 八角隆男、三浦孝正他

1. 目 的 体力の向上を図り、最後まで諦めない強い精神力を育成すると共に、自分の健康や体力に関心を持ち、生涯を通して健康を維持、管理できる能力と態度を養う。
2. 日 時 令和2年 2 月 6 日（木） 1・2年生全員
3. コー ス 学校～中台運動公園周辺を通る緑道
男子 9キロ（90分以内） 女子 5キロ（50分以内）

令和元年度マラソン大会（第40回）優勝者

〔男子〕 井越太陽（2B）記録33' 30" 〔女子〕 大嶋友里香（2F）記録21' 53"

（行事を終えての生徒の意見）

授業時の練習と本番の違いに戸惑った。トイレが無くて不安だった。達成感ありあり。
※トイレの件については、その後、中台の自治会集会所の会長さんから集会所のトイレの貸し出しの申し出がありました。ご協力に感謝申し上げます。

文化委員会

顧問 八木 愛梨

文化委員会は、平成10年5月の生徒総会で承認されて成立した委員会です。発足以来、「文化委員会実行委員会」の構成メンバーとして、生徒会本部役員を補佐し、文化祭（黎明祭）の準備、運営に関わってきました。クラスの企画においてリーダーシップを発揮しながら、学校全体に関わる仕事もこなさなければならない為、各クラス4～6人の生徒が割り当てられることが多いです。令和元年度の黎明祭では、開会式に特に力を入れました。当然、司会進行は生徒が行い、裏方にもあらゆるところに生徒を配置して「自分たちが創る開会式」を実現させようと努力していました。スマートフォンを活用してタイミングを合わせた演出は、デジタルネイティブ世代ならではの工夫だと感心したものです。

今年度は新型コロナウイルスの影響で文化祭が中止になり、生徒も教員も非常に辛い思いをしました。学校行事のさらなる活性化と効率化を実現させていきながら、成田北高校の伝統としての黎明祭を、次の世代に伝えていきます。

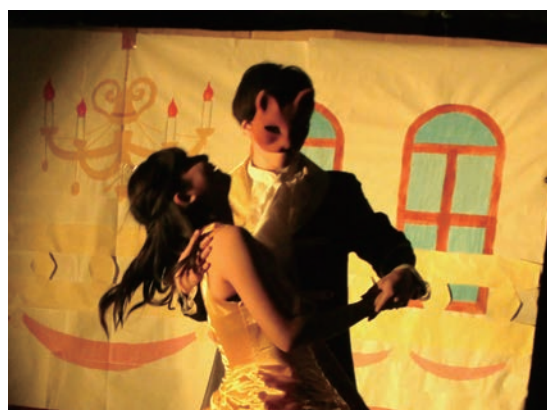


図 書 委 員 会

顧問 三上 茂

図書委員会は、開校と同時に発足したが、当初は図書館もなく蔵書もなかったので、特に活動はできなかった。そして、昭和五十八年度に現在の図書館が完成し、昭和六十一年度にコンピュータ管理システムが導入された。平成元年度には、千葉県教育委員会の「特色ある学校づくり」の研究指定を受けて書誌情報検索システムを完成し、全国的にも注目されるコンピュータシステムによる運営が進められていった。このシステムを活用していくに当たって、図書委員会の生徒が果たす役割はとてもおおいものであった。

現在の図書委員会としては、図書館の本来の目的である「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての機能を果たすための手助けをし、本校生徒の読書・学習についての要望に応え、読書への関心と意欲を高めていくことが目標である。

しかしながら、昨今の携帯電話の普及による電子書籍やゲームへの依存などにより、読書への関心は薄れるばかりである。それに伴い図書館利用率および貸し出し冊数の減少が顕著となっているのが現状であり、この対策をどのようにするかが今後の課題となっている。

そんな中、今現在は文化祭への参加など派手な活動こそしていないものの、地道に貸し出し・返却の日常業務をこなし、「新着図書案内」の発行や夏期休業中の蔵書点検、平成二十年度から行っている芸術鑑賞会の手伝い等を主に行っている。

図書館自体は、蔵書数も三万五千冊に達し、書棚はもちろん書庫までもが満杯状態に陥り、整理をするために平成二十九年度から五ヶ年計画にて除籍作業を進めている。その作業を中心になって円滑に進めてくれているのが図書委員会の生徒です。

これからも、今までの豊かな経験を生かし、本校の文化・情報センター、安らぎのスペースとして発展していくために、一層力をあわせ、知恵を発揮していった欲しいと願っている。



芸術鑑賞会
和太鼓 和jin
2018年12月13日



図 書 室

放送委員会

顧問 酒井 信行

放送員会はここ数年「みんなを笑顔にする放送をこころがけよう」や「自主的に行動しよう」等のスローガンを掲げ学校生活の円滑化と自主性を重んじ委員会活動を展開してきた。年間の主な内容としては昼の放送、体育館で行う式典行事、体育祭実況などである。毎日昼食の時間になると生徒たちが好む流行の音楽が教室に流れ学校生活に潤いを与えている。また、式典時には発言者の一人一人の声量にまで気をくばり式典を成功させるべく取り組んでいる。

放送委員は複数年継続して担当する者が多いため放送機材のセッティングや体育祭の放送実況など上手にやりこなす。

また、新入生に対しても上級生が教えるという体制がしっかり整っており組織として大変良く機能している。放送委員会のこのような体制は生徒たちにより伝統的に築き上げられたものであり、私も顧問になった時に大変驚かされた。まさに頼もしい集団である。

保健委員会

顧問 三島 諒子

本校の保健委員会は各クラス男女1名ずつで構成されています。主な活動内容は①健康診断の補助②体育祭の救護係③石鹸の補充作業です。

健康診断では、尿検査の回収作業や歯科検診の補助、身体計測の準備・補助・片付けなど大活躍です。その中でも歯科検診の補助作業は、歯科衛生士を目標としている生徒にとっては、とても興味のある内容で積極的に参加してくれる生徒が多い仕事です。

体育祭の救護係は、グラウンドに設置されている救護スペースへ用具を運んだり、ケガをした生徒への聞き取りを行います。下級生に対応している姿はとても頼りになるお兄さん・お姉さんに見え安心して任せられます。

1年を通して行っている仕事が、手洗い場に置いてある石鹸の補充作業です。毎月、各学年から1クラスずつ割り振りをし放課後に補充を行っています。

今後は、感染予防などで保健委員が活躍する場が増えることが予想されます。こちらから呼びかけるだけでなく、保健委員が中心となり手洗いや換気を自主的に啓発運動できるようにしていきたいと考えます。



選挙管理委員会

顧問 高橋 良平

本委員会は、生徒会規則に定められた臨時委員会の1つで、担当業務は生徒会役員選挙の計画・運営である。明日の成田北高等学校を支える生徒会本部役員の、公平・公正な選出のために各クラスから選出された委員は責任感が強く、選挙の運営は円滑かつ正確に行われている。主な活動は以下の通りである。

9月下旬…生徒会役員選挙公示

10月初旬…立候補者締切

10月中旬…生徒会役員選挙立会演説会・選挙の進行、投票及び開票集計作業

選挙結果公示

12月下旬…認証式

業務内容から、生徒会顧問と連絡・情報共有を行い、連携に努めることが必要である。卒業するまでに選挙権を持つ生徒達に対し、その制度や権利、義務等についても視野に入れながら活動していくことも必要であると感じている。

美化委員会

顧問 澤井 博司

本委員会は、学校の環境整備を中心に活動している。学期ごとの大掃除では清掃用具の確認や補充、黎明祭文化の部では各団体のゴミの管理をしている。また日頃から環境問題を考慮し活動している。特に平成30年度には千葉県環境教育モデル校として選定され、「省エネルギー対策及び再生可能エネルギーの活用に係る実践」をテーマ1年間活動した。各教室のゴミ回収の方法を見直し、省エネルギー型のゴミ回収方法を実施した。教室のゴミ箱に袋を使用せず、直接ゴミをゴミ箱に捨て、ゴミを回収するときにゴミ箱を美化委員の生徒が高圧洗浄機で洗い、また教室で使う方法を実践した。しかしその後のゴミ捨てでも同じ方法をとる予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で清掃を行えない時期があり、その後も感染のリスクを抑えたゴミ捨ての方法を考え実施することとなった。



美化委員会の活動



福増浄水場見学（平成30年7月）

規律委員会

顧問 八角 隆男

- 規律委員会では、年間努力目標として
- ① みんなが安全・快適に学校生活を過ごせるようにする。
 - ② 成田北高生としての身だしなみを整え、明るく挨拶のできる学校をつくる。

を目標として、年間5回程度「朝の挨拶運動」を昇降口で生徒全員に声かけをしています。

また、文化祭などの学校行事では校内の警備・巡回を行っています。

この他に、市内高校生が参加する、交通安全運動や痴漢撲滅キャンペーンなど地域の取り組みにも参加し、学校と地域とのつながりにも貢献しています。今後も、成田北高校の生徒会活動に積極的に取り組み、よりよい成田北高校を目指していきたいと思っています。

社会福祉委員会

顧問 中墓 真弓

社会福祉委員会の主な活動は、①赤い羽根共同募金や書き損じハガキの回収等の募金活動と、②社会福祉法人大成会（成田市三里塚の不二学園）の「あじさい祭り」や県立栄特別支援学校の「栄龍祭」等の行事の手伝いのボランティア活動である。これらを、各クラスの委員が中心となり、全校生徒に呼びかけている。ボランティア活動は年度によって参加者の増減が激しく、活発な活動が出来なかった時もある。

各地で様々な災害が起こる昨今、「社会福祉」を身近なものとして、出来る事を少しでも増やし活動の幅を広げていけたらいいと考える。





分 掌



教 務 部

部長 堀口 光



1 活動方針

本校の学校教育目標、教育方針、努力目標を達成するために、教育活動の根幹となる学習活動全般に関わる業務が円滑に行えるように、各学年・各分掌との連携を密にし、企画・運営・整備に努める。

2 重点目標と具体的方策

- (1) 大学入試改革に対応した授業づくり
 - ・学習指導の過程や成果について適時、適切な評価を行う体制の整備
 - ・職員相互の授業見学の実施
 - ・行事の精選による授業時間数の確保
- (2) 教育課程の円滑な運用
 - ・新学習指導要領改定に伴う教育課程の編成
 - ・新しい評価方法への準備
 - ・科目選択やクラス編成
- (3) 入学者選抜業務の円滑な運営
 - ・入試業務の見直しや検討を重ね、公正で公平な評価ができる体制を整える
 - ・入試の追跡調査
- (4) 校内研修体制の確立
 - ・教育実習、校内研修の体制を整える
- (5) 図書館の充実
 - ・図書館の施設・設備の充実
 - ・新着図書を紹介
 - ・充実した芸術鑑賞会の実施



情 報 部

部長 青木 治毅



情報部の設立は平成14年度である。教務部から独立する形で新たに設置されたようである。活動目的は、ネットワークの管理、校務の情報化を推進し、安全にデータ処理をし、管理、運用することである。業務内容としては、成績処理システムの設定、管理、運用、利用方法の説明会や、高等学校入学者選抜のデータ処理、そこから派生し、入学者のデータ管理、調査書、指導要録の作成、後述するネットワークの保守、管理など非常に多岐にわたる。

本校では、平成30年に千葉県から教職員1人1台のノートPCが貸与され、校務のほとんどが貸与されたノートPCで処理されることとなった。ネットワークは現在、県のサーバーに接続された主に成績処理に利用されるネットワーク、校内での業務に利用でき、インターネットに接続することができるネットワークの2つが県貸与ノートPCから利用できる。令和元年度には、校内のネットワーク上にNAS (Network Attached Storage) を接続し、より一層業務の効率化が図られることとなった。

今後の課題としては、各種業務が複雑化し、引継ぎやシステムのメンテナンスが難しくなっているため、マニュアルの整備や情報モラルの向上などがあげられる。





防災安全管理部

部長 澤井 博司



創立以来、環境の美化については、大変力を入れてきた。毎日の清掃活動の徹底を図り、ゴミを少なくし、分別回収の向上を目指してきた。特に平成9年からは、ダイオキシンの問題により焼却炉でのごみの焼却ができなくなったため、ゴミの分別回収を徹底し、現在では「燃えるゴミ」「瓶・缶類」「ペットボトル」「資源ごみ」等に分類し、回収業者によって処理されている。

また、平成30年には千葉県環境教育モデル校として選定され、「省エネルギー対策及び再生可能エネルギーの活用に係る実践」をテーマ1年間活動した。内容は、各教室のごみ回収の方法を見直し、省エネルギー型ごみ回収の方法を見つけるといったものだ。1学期は例年通りごみの回収を行い、2学期にはゴミ袋を使用せず、毎日のごみ出しの際にゴミ箱を洗浄した。結果はゴミ袋を使用せず、ゴミ箱を洗う方法がエネルギーの消費が低く、この方法を3学期以降続けていくこととなった。

しかし令和元年度に流行し始めた新型コロナウイルスの感染を防ぐため、令和2年2月からはゴミ袋の使用を再開。ゴミの量にかかわらず毎日ゴミ捨てを行った。その後、長い休校が明けた6月からは校内のごみ箱をすべて撤去し、さらなる感染症対策を行った。放課後の掃除も教員が行った。分散登校や時差登校を経て、段階的にゴミ捨てや掃除の方法を通常に近づけているところである。



進路指導部

進路指導主事 加瀬 徹



本校は現状、大学40%、短大6%、専門学校等42%、就職5%のいわゆる「進路多様校」である。本校のような「進路多様校」における進路指導は、実は非常に難しい。何故か。いわゆる「進学校」のように大学・短大進学に特化した指導だけをしていればいいというわけではなく、専門学校進学のための指導、一般企業就職のための指導、公務員試験合格のための指導というように全方位に向けて万遍無く気配りしつつ、指導の中身も充実させなくてはならないからだ。例えば、模試一つとっても多種多様な模試を実施しなくてはならないし、分野別説明会等の行事でも生徒が希望するすべての分野についての講師・会場を手配しなくてはならない。進路指導というと、「有名大学に何人合格したのか」ということばかり気に掛ける風潮があるので、このことは特に強調しておきたい。結局、学校の実情に応じて、一生懸命指導するしかないわけで、一律の尺度で判断することはできない。

とはいえ、幸いにも本校の進路実績については、年々確実に成果を上げているといえる。生徒諸君の地道な努力によるところが大きいのはもちろんだが、保護者の皆様、地域の方々の御理解・御協力のおかげでもある。



生徒指導部

生徒指導主事 三浦 孝正



1 生徒の様子（平成22年～平成28年）

この年間の生徒の様子を上げる。

- ・男子生徒・・・Yシャツの裾出しと腰パンが多数。
- ・女子生徒・・・ミニスカートが過半数

服装の乱れが顕著である上に、通学途中でのマナー違反行為および注意に対する反発的な言動による苦情も数多く寄せられていた。

このような状況であった為、近隣住民や市内中学校からの評価も決して良くはなかった状態が続いていた。



2 生徒指導対応

- 1) 頭髪や服装の乱れなどの身だしなみに関して厳しく、また根気強い指導を継続した。
- 2) 地元警察と連携して、自転車点検の実施と施錠の徹底を実施した。
- 3) 指導する際に、全職員が協力し共通行動できるように「共通指導」を決めて指導に当たった。
これらにより、徐々に教員と生徒の関係が良好になり、教育活動が円滑に行われるようになってきた。

3 平成29年度～令和元年の状況

生徒指導の指標をいくつか示す。

	特別指導 (件数・人)	いじめ・ 暴力行為	盗難・窃盗 (金品)	*生徒アンケート
平成29年	16件・19人	0件	0件	84%
平成30年	8件・23人	1件	0件	87%
令和元年	10件・12人	0件	0件	91%

*は「集団生活のルールやマナーを守っている」と回答した%

指標からも分かる通り、年々状況は改善しつつあり、おおむね9割の生徒はルールを守って生活できるようになってきた。

その結果、近隣の中学校からの評判も向上し、成田市内の入学生徒の比率がアップしている。

4 10年間での主な生徒指導部関係の変更点など

- 1) いじめが社会問題化したことで、いじめ対策の法整備が進み、各学校が「いじめ対策基本方針」を作成、ホームページに掲載。組織的かつ厳格な対応が求められるようになった。
- 2) 同様に、体罰やパワハラ問題も絶対禁止の風潮が高まり、部活動をはじめ学校内でそのような場面は見られなくなった。
- 3) 平成25年度から制服のブレザー胸ポケット部分に学校エンブレムワッペンをつけるようになった。(写真参照)
- 4) 平成31年度から「指定セーター」を導入し、登下校での着用を認可した。



5 現在の生徒指導上の課題

- 1) ・自転車マナーへの苦情が減っていない。
- 2) ・マナー違反は男子、頭髪とスカート丈違反は女子に多い傾向があり、
＜過去10年間の部長＞

年 度	部 長 名
平成22年度～平成24年度	・飯名 剛
平成25年度～平成30年度	・島田 朋幸
平成31年度～	・三浦 孝正



国際理解委員会

顧問 澤井 博司



本校は毎年夏季休業中に参加を希望した生徒を海外語学研修に派遣している。本校の国際交流事業の歴史は長く、本年度は25年目に当たる。1996年よりオーストラリアのニューサウスウェールズ州にあるワガワガ高校と交流を始めた。その後2013年まで、毎年本校生徒を派遣し、先方からはほぼ隔年で派遣生徒を受け入れてきた。2014年、これまでの経験を踏まえ、より安全で、国際交流に積極的な学校を選び、派遣先をニュージーランドのオークランド市にあるプケコヘ高校に変更し実施した。2017年は参加人数の不足で2020年度は新型コロナウイルス感染症のために中止となったが、オーストラリアは1996年から2013年の間に16回、ニュージーランドは2014年から2020年までの間で5回生徒を派遣している。本年度は新型コロナウイルス感染症のため海外派遣を昨年度の3月に決定した。来年度の国際交流事業も新型コロナウイルスの動向を見ながら生徒が安心して実施できるようにこれから企画をしていきたい。



ワガワガ高校にて



ワガワガ高校からの記念樹（ミモザ）



プケコヘ高校



2014年の交流



2014年の交流



プケコヘ高校校長と新村教頭(当時)



国際交流委員会と本校参加生徒



プケコヘ高校にて



総務部

総務部 板倉 恵一



総務部の行事も職員、生徒やPTAの意見を取り入れこの10年の間に少しずつ変化した。

- ① 本校PTAが全国発表（表彰）を受けたこと（平成26年8月21日）を記念して、職業啓発講座として第1回「未来講座」（平成25年7月16日）を行った。第5回までは全校生徒対象で行っていたが、その後、対象を1年生に絞った。
- ② マラソン大会で豚汁を配給した。（平成27年度～）PTA文化・地域委員会の理事が集まって作り、走り終わった生徒に配った。食材・ガス・大釜の注文をし、2つの学年分以上の、1200食程作った。温かい豚汁が食べられて一層充実したマラソン大会になった。
- ③ 新理事を選ぶ方法を変えた（平成29年度）。入学式後クラスで新理事を決める方式から、入学許可候補者説明会で、中学校ごとに集まり理事を決める方式にした。これは全国大会の報告から成田北高校もこの方法がいいだろうという提案を受け、実現したものである。
- ④ 夏の終業式・始業式は暑さ対策のため、冬の終業式・始業式は寒さ対策のため、放送で行うことにした。

令和2年度PTA役員



会長
鳥海 直樹



書記
眞壁 優美

三学年副会長
後藤 美香

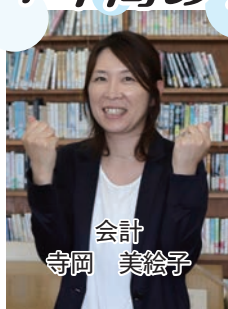


監事
石井 尚子

1年間ありがとうございました



国際交流委員長
田代 久枝



会計
寺岡 美絵子



一学年副会長
大徳 冬季



二学年副会長
前田 憲一



監査
柏熊 昭則



広報委員長
大崎 淳司



教養研修委員長
中谷 三千子



文化地域委員長
高橋 知子



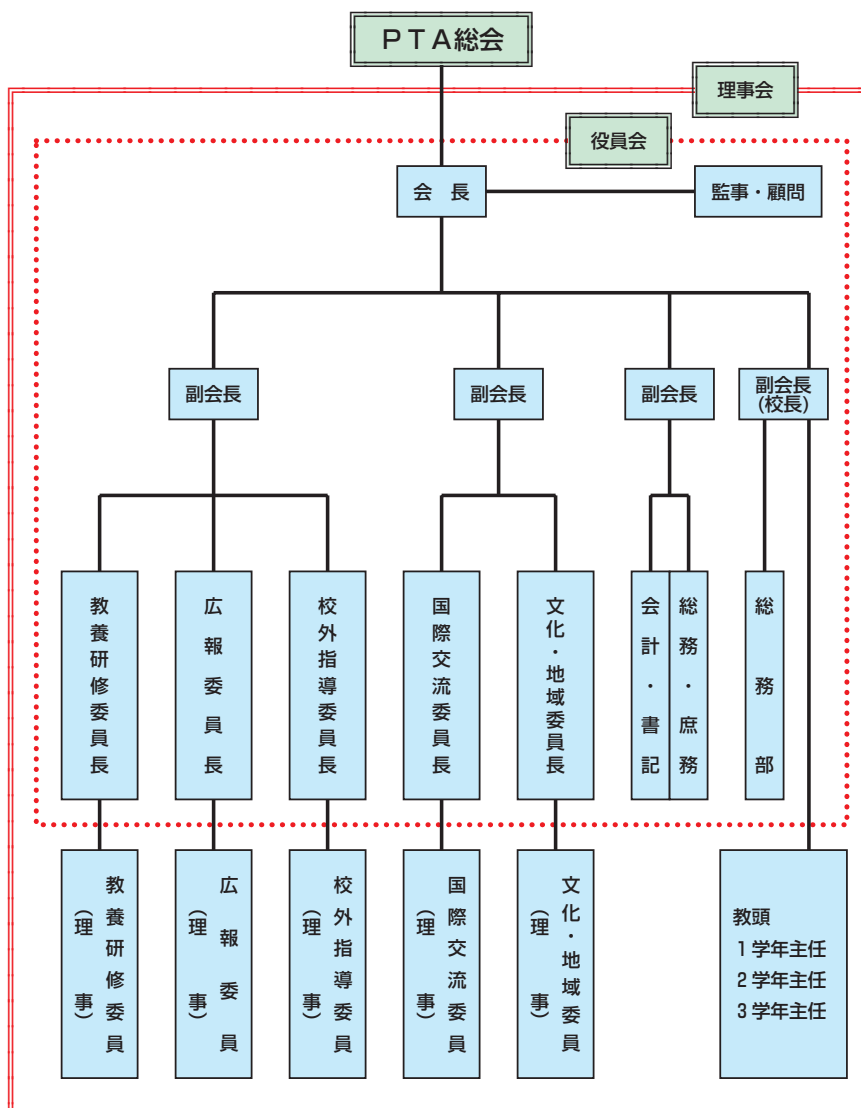
校外指導委員長
肉藤 久美子

PTA役員選出について

例年、入学許可候補者説明会の後、新入生保護者は子供の出身中学校等で8区分された教室に移動し、委員会理事・本部役員の司会による5つの委員会理事の選出に参加します。顔見知りの保護者が1つの教室に集まることで、緊張感がほぐれることもあるようです。新年度本部役員は、小中校PTAで実績のあった保護者の「1本釣り」や成北OB・OGが、先輩役員の勧誘で本部入りすることも多いようです。通常、会長は3年生保護者から選出され、校長先生と各学年保護者から1名ずつの副会長、また、監事・会計・書記も理事から選出された後、理事会での推薦を経て、総会で承認されます。

高校PTAは小中校とは異なり、その活動内容・時間が大幅に減少しますが、選出された理事・本部役員は、縦や横の繋がりを深めて、保護者として子供達の学校生活に関われる最後の3年間を楽しまれています。

千葉県立成田北高等学校PTA組織図

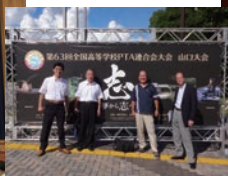


PTA10年間の出来事

- ・平成25年7月16日『成北未来講座』スタート



- ・平成25年8月21日全国高等学校PTA連合会大会
山口大会での発表

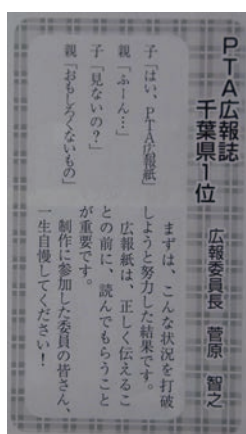


▲野村氏発表の様子

- ・平成25年11月26日
印旛地区公立高等学校合同研修会を主催する



- ・広報誌『なりきた』 千葉県1位を獲得（平成25年度）



- ・平成26年3月23日
体育館スクリーンをPTA、後援会、同窓会共同出費



- ・平成26年8月21日文部科学大臣賞を受賞



▲越前和紙の時計を送られました。

- ・平成26年11月4日
玄関部外壁一面塗装をPTAで出費



- ・平成27年10月10日
成田市スポーツフェスティバル参加



委員会活動の様子

平成26年度からそれまでの3委員会から5委員会体制へと組織変更をして、より活発な委員会活動に変わってきています。

・校外指導委員会

年2回、登下校指導を行っています。主に挨拶、服装、自転車の乗り方などをチェックしています。生徒達が安全に気をつけて登下校ができるように見守りたいと思います。



・広報委員会

年2回の広報『なりきた』を発行しています。昨年は創刊第100号記念号を発行しました。



▲創刊第100号記念号

・国際交流委員会

▼ニュージーランド研修への出発前、成田空港で



・文化・地域委員会

黎明祭で焼きとり販売・マラソン大会で豚汁を配っております。とてもやりがいのある楽しい委員会です。

ニュージーランド研修のサポートやホームステイ先へのお土産作りをしています。

▼マラソン大会の様子



・教養研修委員会

『成北未来講座』、『視察研修』という活動を通して進路について考えるきっかけを創っています。生徒皆さんの進路を、輝く未来を応援していきます。



▲第6回成北未来講座講師の皆さん

40年目 令和元年度のPTA活動

・ 4月 入学式PTA会長挨拶



・ 5月 PTA総会



・ 8月 全国高等学校PTA連合会大会 京都大会



・ 9月 黎明祭への参加



・ 10月 PTA視察研修旅行



・ 3月 卒業式 会長挨拶



・ 41年目 令和2年度PTA総会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面表決開催となりました。



▲理事会はソーシャルディスタンスを保つために体育館を使用しました。



▲PTA会費よりハンドジェルを購入しました。



資料

教職員在任期間一覽

教科・教科	氏 名	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元
校 長	鈴木 政男	◎									
校 長	加瀬 正彦		◎	◎	◎						
校 長	平賀 洋一					◎	◎				
校 長	土屋 俊一							◎	◎		
校 長	弘海 政信									◎	◎
教 頭	今井 肇	◎	◎	◎							
教 頭	新村 浩章				◎	◎					
教 頭	櫻井 佳成						◎	◎			
教 頭	金田 一幸								◎	◎	
教 頭	遠山 宗利										◎
国 語	川島 洋子	◎	◎	◎	◎						
国 語	小野寺 工	◎	◎	◎	◎						
国 語	五江渕義治	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
国 語	福田 克行	◎	◎								
国 語	川澄 貴子	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
国 語	菅谷 里美	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
国 語	塩崎 礼子		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
国 語	田口 富男		◎	◎							
国 語	椎名 良恵			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
国 語	村岡 信孝	◎									
国 語	野上由美子	◎									
国 語	高塚 雄毅				◎	◎	◎				
国 語	鞠子 侑太					◎	◎	◎	◎		
国 語	野瀬千鶴子					◎					
国 語	仲野 仁					◎					
国 語	平山 弘之						◎			◎	◎
国 語	内野 由佳							◎	◎	◎	◎
国 語	永田 勝也								◎		
国 語	栗山 克明								◎		
国 語	奈良部真樹子									◎	◎
国 語	鈴木 章宏									◎	◎
国 語	遠部 正夫									◎	◎
国 語	杉浦 龍希										◎

教科・教科	氏 名	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元
地 歴 公 民	高橋 清行	○	○	○							
地 歴 公 民	弘中 静雄	○	○	○	○						
地 歴 公 民	半田 勉	○	○	○	○	○	○	○	○		
地 歴 公 民	根本 勉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
地 歴 公 民	白川 仁	○	○	○	○	○	○	○	○		
地 歴 公 民	石倉 裕之	○	○	○							
地 歴 公 民	橋本 光洋	○	○	○	○	○	○	○	○		
地 歴 公 民	青木 武美		○	○	○	○	○				
地 歴 公 民	三橋 康孝	○									
地 歴 公 民	高師 幸広				○	○	○	○	○		
地 歴 公 民	酒井 信行				○	○	○	○	○	○	○
地 歴 公 民	小倉 晶文					○					
地 歴 公 民	高城 幸雄					○					
地 歴 公 民	林 綾音						○	○	○	○	○
地 歴 公 民	平山 久春						○				
地 歴 公 民	加藤 美優								○	○	○
地 歴 公 民	野々宮 司									○	○
地 歴 公 民	櫻田 常聖									○	○
地 歴 公 民	熊谷 治									○	
地 歴 公 民	塩澤 和博									○	○
地 歴 公 民	山口 隆司										○

数 学	柳生 茂男	○	○		○						
数 学 ・ 情 報	馬場 俊一	○	○	○	○						
数 学	板倉 恵一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
数 学 ・ 情 報	鬼澤 昌宏	○	○	○	○	○					
数 学	飯塚 恭子	○	○								
数 学	蒔 哲		○	○	○	○	○	○	○	○	○
数 学	和田 匡史			○	○	○	○	○			
数 学	渡邊 孝輔			○							
数 学 ・ 情 報	新田 滋子	○									
数 学	齋藤 哲夫	○									
数 学	田中 哲郎				○	○	○	○			
数 学	朝生 健太					○					
数 学	齋藤 光宏						○	○	○	○	○
数 学	青木 治毅						○	○	○	○	○
数 学	布目 壽						○				
数 学 ・ 情 報	升谷 利史							○	○	○	
数 学	加瀬 徹								○	○	○
数 学	白水 洋平								○	○	○
数 学	石橋 博道										○

教科・教科	氏 名	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元
理 科	薄井 喜次	○	○	○	○						
理 科	秋葉 幸一	○	○	○	○	○					
理 科 ・ 情 報	小出 徳江	○	○	○	○						
理 科	宮下 明	○	○	○	○	○	○	○			
理 科	佐藤 哲朗	○	○								
理 科	齋藤 善信		○	○	○	○	○	○	○	○	○
理 科 ・ 情 報	下山 剛		○	○	○	○	○	○	○	○	○
理 科 ・ 情 報	湯浅 秀観		○	○	○	○	○	○	○		
理 科 ・ 情 報	石井 功一			○	○	○	○				
理 科	森 知幸	○									
理 科 ・ 情 報	泉水 清和	○									
理 科	長嶋 健二	○									
理 科	堀口 光					○	○	○	○	○	○
理 科	山川 亮					○	○	○	○	○	
理 科	床枝あかね						○	○	○	○	
理 科	濱中 修						○				
理 科	龍門 謙佑							○	○	○	○
理 科	村田 馨								○	○	○
理 科	高橋 妙子										○
理 科	高嶋ゆかり										○

保 健 体 育	川村美佐子	○	○								
保 健 体 育	佐藤 三幸	○	○								
保 健 体 育	飯名 剛士	○	○	○							
保 健 体 育	橋本 祥子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
保 健 体 育	佐藤 優美	○	○	○	○	○					
保 健 体 育	吉田 豊		○	○	○						
保 健 体 育	島田 朋幸			○	○	○	○	○	○	○	
保 健 体 育	齋藤 真紀			○	○	○	○	○			
保 健 体 育	井野 和浩	○									
保 健 体 育	石井慎之助	○									
保 健 体 育	鈴木 勝男				○	○					
保 健 体 育	八角 隆男					○	○	○	○	○	○
保 健 体 育	横田 将之					○					
保 健 体 育	矢代 正人						○	○	○		
保 健 体 育	北林 峰明						○	○	○	○	○
保 健 体 育	三浦 孝正								○	○	○
保 健 体 育	大石 康									○	○
保 健 体 育	高橋 良平										○

教科・教科	氏 名	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元
芸 術	土屋 幸夫	○	○	○	○						
芸 術	松永 博一	○	○	○	○	○	○				
芸 術	笹崎壽宜子	○									
芸 術	穴山 和義		○	○	○						
芸 術	玉崎 智子					○	○	○	○	○	○
芸 術	西尾 多道					○	○	○	○	○	○
芸 術	中臺 真弓							○	○	○	○

英 語 ・ 情 報	仲澤 信明	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
英 語	綿貫 清	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
英 語	宮田由紀子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
英 語	岩瀬 邦利	○	○	○	○	○	○	○			
英 語	古川 恵一	○	○	○	○	○					
英 語	原田久美子	○	○	○							
英 語	柴田 智		○	○	○	○	○				
英 語	有馬 章雄		○	○	○	○					
英 語	寺内 美紀		○	○	○	○	○	○	○	○	○
英 語	原野 隆	○									
英 語	鎌田千絵子	○									
英 語	和田 克徳		○								
英 語	組田幸一郎				○	○					
英 語	鈴木 靖子					○	○	○	○		
英 語	渡邊 牧子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
英 語	藤田 文行						○	○	○	○	○
英 語	車 芳郎						○	○	○	○	○
英 語	乙部 聡美						○				
英 語	澤井 博司							○	○	○	○
英 語	加藤 空							○			
英 語	藤崎美穂子								○	○	○
英 語	細川 金男								○		
英 語	向 秀男									○	○
英 語	高田 啓子										○
英 語	八木 愛梨										○

家 庭	香取 里佳	○	○	○							
家 庭	山本 泉				○	○	○	○	○	○	
家 庭	佐々木香織										○

情 報	飯島 孝則									○	○
-----	-------	--	--	--	--	--	--	--	--	---	---

教科・教科	氏 名	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元
養 護	内藤八重子	○	○	○	○	○	○				
養 護	高木 綾子	○									
養 護	松戸美佳子		○								
養 護	小幡 節子			○							
養 護	土屋 実紗				○	○	○	○	○	○	○
養 護	山内 友子							○			
養 護	星野 晶子								○	○	○
養 護	盆子原綾乃								○		
養 護	岩佐 麻美									○	
養 護	三島 諒子										○
助 手	三上 茂	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
事 務 長	伊藤 京子	○	○	○							
事 務 長	岩館 恵子				○	○	○	○			
事 務 長	多田 文裕								○	○	
事 務 長	及川 佳司										○
事 務	根本 ゆき	○	○								
事 務	成毛 弥生	○									
事 務	長野 純子	○									
事 務	本宮 典子		○	○	○	○	○				
事 務	原田 亮平		○	○	○						
事 務	鈴木美津江			○	○						
事 務	高梨 祐子					○	○	○	○		
事 務	森井 涼					○	○	○			
事 務	石塚 千晶							○	○	○	○
事 務	横山 唯斗								○	○	○
事 務	増子 潤子	○								○	
事 務	龍野 紀子										○
主任学校技能員	三澤 貞子	○	○	○	○	○	○				

教科・教科	氏 名	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元
非常勤講師	高宮 宙志		○								
非常勤講師	菅野 優太		○								
非常勤講師	山田 貴志		○								
非常勤講師	原田 竜郎			○							
非常勤講師	成毛 一真				○						
非常勤講師	斎藤 千賀				○						
非常勤講師	岩城 綾乃					○					
非常勤講師	浅見 智峰					○					
非常勤講師	岩間謙司郎					○					
非常勤講師	正角 知佳					○					
非常勤講師	藤野 陽平						○	○			
非常勤講師	遠藤 幹康						○				
非常勤講師	田澤 温子						○				
非常勤講師	橋本 圭杜						○	○			
非常勤講師	土屋 誠							○			
非常勤講師	濱中 修							○			
非常勤講師	盆子原綾乃							○			
非常勤講師	依田 想太								○	○	
非常勤講師	宇佐美研二								○		
非常勤講師	倉波 枝理									○	
非常勤講師	加藤 健一										○
非常勤講師	鈴木 真紀										○

嘱 託	永井 衛							○	○	○	○
嘱 託	香取 伸一							○	○	○	○

カウンセラー	滝川 千里	○	○								
学校医（内科）	石原 輝英	○	○	○	○	○	○	○			
学校医（内科）	片岡 満男								○	○	○
学校医（外科）	藤崎 康人	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
学校医（眼科）	山崎 直樹	○	○	○	○	○	○	○	○		
学校医（眼科）	加部東武徳									○	○
学校医（耳鼻科）	鳥居 雅江	○	○	○							
学校医（耳鼻科）	橋 昌利				○	○	○	○	○		
学校医（耳鼻咽喉科）	池宮城慶寛									○	○
学校医（歯科）	斉藤 憲一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
学校医（歯科）	野澤 隆之	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
薬剤師	穴倉 清	○	○	○	○	○	○	○	○		

学年主任・担任一覧

	年	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元
1 学 年	主	石倉	福田	斎藤善	橋本祥	酒井	綿貫	藤田	八角	寺内	大石
	副	白川	半田	綿貫	白川	五江渕	塩崎	椎名	昉	塩崎	鈴木
	A	長嶋	半田	塩崎	岩瀬	五江渕	塩崎	岩瀬	宮田	塩崎	板倉
	B	橋本祥	宮内	根本	椎名	堀口	山本	床枝	龍門	加藤	椎名
	C	鬼澤	有馬	秋葉	組田	山川	齋藤光	高師	川澄	野々宮	櫻田
	D	宮下	湯浅	青木	斎藤真	田中	鞠子	菅谷	村田	青木	八木
	E	川澄	佐藤優	寺内	下山	鈴木靖	寺内	澤井	藤崎	林	鈴木
	F	白川	五江渕	板倉	白川	八角	西尾	北林	昉	内野	澤井
	G	岩瀬	馬場	宮下	高師	宮田	青木治	椎名	中臺	大石	高橋妙
	H	石井		綿貫	川澄		藤田		三浦		
	副担任	野上	和田	穴山	橋本祥	横田	乙部	龍門	升谷	向	山口
		宮田	齋藤	仲澤	土屋	古川	平山弘	半田	永田	三浦	塩澤
		新田	飯塚	吉田	薄井	渡邊	松永	升谷	酒井	渡邊	齊藤
		馬場	松永	松永	松永	松永	矢代	仲澤	仲澤	鈴木	青木
		笹崎	小出	斎藤善	橋本祥	石井	宮下	白川	八角	齊藤善・下山	寺内
2 学 年			吉田	椎名	田中	山本	濱中・綿貫	齊藤善	玉崎	升谷	佐々木
				高橋	昉	高城	根本	中臺	車	寺内	杉浦
				渡邊	石井		林		栗山		
	主	綿貫	石倉	半田	斎藤善	橋本祥	酒井	綿貫	藤田	八角	寺内
	副	佐藤三	白川	五江渕	綿貫	白川	五江渕	塩崎	椎名	昉	塩崎
	A	板倉	鬼澤	馬場	塩崎	岩瀬	鈴木	塩崎	橋本祥	宮田	塩崎・綿貫
	B	香取	宮下	有馬	板倉	下山	五江渕	山本	白水	玉崎	白水
	C	橋本光	宮田	五江渕	秋葉	高師	堀口	齋藤光	澤井	村田	高田
	D	佐藤三	川澄	湯浅	青木	斎藤真	宮田	西尾	北林	昉	加藤
	E	柳生	白川	和田	根本	白川	八角	鞠子	床枝	奈良部	高橋良
	F	川村	岩瀬	佐藤優	寺内	昉	山川	林	菅谷	龍門	内野
	G	高橋	橋本祥	宮内	宮下	椎名	田中	青木	椎名	中臺	野々宮
	H	菅谷	昉		綿貫	組田		寺内		藤崎	
	副担任	秋葉	寺内	田口	穴山	鞠子	酒井	下山	鈴木	熊谷	綿貫
		佐藤哲	石倉	小出	菅谷	野瀬	北林	湯浅	半田	車	塩澤
3 学 年		根本	田口	香取	酒井	橋本祥	平山弘・布目	加藤	齊藤善	遠部	齊藤
		五江渕	下山	柴田	高塚	湯浅	齊藤善	根本	山川	山本	青木
		仲澤	香取	橋本光	鬼澤・柳生	仲野	玉崎	宮下	白川	八角	寺内
			塩崎	半田	斎藤善	玉崎	高塚	綿貫	板倉	仲澤	佐々木
			柴田	島田	鈴木	朝生	半田	矢代	加瀬	酒井	杉浦
			弘中		山本	川澄		内野	櫻田		
								宮下			
	主	福田	綿貫	石倉	半田	斎藤善	橋本祥	酒井	綿貫	藤田	八角
	副	半田	佐藤三	白川	五江渕	綿貫	白川	五江渕	塩崎	椎名	藤崎
	A	飯塚	板倉	鬼澤	馬場	塩崎	岩瀬	山川	塩崎	白水	昉
	B	森	秋葉	下山	和田	板倉	昉	田中	青木	橋本祥	藤崎
	C	小出	橋本光	宮田	佐藤	秋葉	椎名	五江渕	鞠子	澤井	龍門
	D	弘中	佐藤三	川澄	宮内	青木	斎藤真	堀口	山本	椎名	玉崎
	E	井野	根本	白川	湯浅	根本	青木武	鈴木	寺内	北林	奈良部
	F	半田	川村	岩瀬	有馬	寺内	川澄	宮田	林	床枝	中臺
G	鎌田	高橋	橋本祥	五江渕	綿貫	高師	八角	齋藤光	菅谷	村田	
H	三橋	菅谷	昉		菅谷	白川		西尾		宮田	
副担任	宮内	綿貫	石井	弘中	小倉	石井・橋本祥	車	細川	山川	高嶋	
	原野	佐藤哲	菅谷	半田	宮下	柴田	橋本祥	渡邊	飯島	遠部・石橋	
	川島	川島	石倉	小野寺	柴田	床枝	齋藤真	湯浅	塩澤・藤田	酒井	
	齋藤	穴山	弘中	川島	鈴木勝	湯浅	玉崎	綿貫	平山	藤田	
	佐藤優	柳生	斎藤	柴田	仲澤	仲澤	酒井	高師	西尾	北林	
		青木	川島	小出	斎藤善	車	昉	矢代	綿貫	八角	
		仲澤	薄井	吉田	高塚	菅谷	川澄	内野	齋藤光	平山	
		薄井	原田久		西尾	下山		加藤		北林	

教育課程の変遷

2010年～2019年 教育課程の変遷

2010年	1学年		国語総合			現代社会			数学Ⅰ			数学A		理科総合A	化学Ⅰ	体育		保健	芸術Ⅰ	英語Ⅰ			情報A		LHR			
	2学年	文系	現代文		古典	地理B 日本史B または 理B		数学Ⅱ		数学B		物理Ⅰ		生物Ⅰ	体育		保健	芸術Ⅱ	英語Ⅱ			家庭基礎		総合	LHR			
		理系	現代文		世界史A	数学Ⅱ			数学B		物理Ⅰ		生物Ⅰ	体育		保健	芸術Ⅱ または 古典講読	英語Ⅱ			家庭基礎		総合	LHR				
	3学年	文系	現代文			古典		世界史B		政治・倫理 または 経済		1科目 より 選択	地学Ⅰ 生物Ⅰ 物理Ⅱ	体育		文系選択		ディ リ ン グ	テ ィ ン グ		総合		LHR					
		理系	現代文		地理B 日本史B または 理B		数学Ⅲ		数学C		化学Ⅱ		生 物 Ⅱ	物 理 Ⅱ	体育		文系選択		ディ リ ン グ	テ ィ ン グ		総合		LHR				
	文系選択科目 国語表現Ⅰ・世界史B・日本史B・地理B・数学B・スポーツマネジメント・芸術Ⅲから2科目を選択																											
2013年	1学年		国語総合			地理B			現社	数学Ⅰ		数学A		化学基礎	生物基礎	体育		保健	芸術Ⅰ	コミ英Ⅰ			英表Ⅰ	総合	LHR			
	2学年	現代文B		古典理解		世界史B			選択	数学Ⅱ		物理基礎		体育	保健	芸術Ⅱ	コミ英Ⅱ			英表Ⅱ		家庭基礎		総合	LHR			
		選 択 倫理・政経・数学B																										
	3学年	文系	現代文B		古典B		日本史B		文系選択		1科目 より 選択	地学Ⅰ 生物Ⅰ 物理Ⅱ	体育		コミ英Ⅲ			英表Ⅱ		情報の科学		総合	LHR					
		理系	現代文B		理系選択	数学Ⅲ			2講座 より 生物 物理Ⅰ		2講座 より 生物 物理Ⅰ		体育		コミ英Ⅲ			英表Ⅱ		情報の科学		総合	LHR					
	文系選択 国語表現・日本史探究・世界史探究・地理探究・倫理・政経・数学探究・地学基礎・スポーツマネジメント・芸術Ⅲ 理系選択 古典探究・数学探究・日本史A・倫理・政経・地学基礎																											
2015年	1学年		国語総合			地理B			現社	数学Ⅰ		数学A		化学基礎	生物基礎	体育		保健	芸術Ⅰ	コミ英Ⅰ			英表Ⅰ	総合	LHR			
	2学年	現代文B		古典理解		世界史B			選択	数学Ⅱ		地学基礎 または 物理基礎		体育	保健	芸術Ⅱ	コミ英Ⅱ			英表Ⅱ		家庭基礎		総合	LHR			
		選 択 倫理・政経・数学B																										
	3学年	文系	現代文B		古典A		日本史B		文系選択		1科目 より 選択	地学Ⅰ 生物Ⅰ 物理Ⅱ	体育		コミ英Ⅲ			英表Ⅱ		情報の科学		総合	LHR					
		理系	現代文B		理系選択	数学Ⅲ			2講座 より 生物 物理Ⅰ		2講座 より 生物 物理Ⅰ		体育		コミ英Ⅲ			英表Ⅱ		情報の科学		総合	LHR					
	文系選択 国語表現・日本史探究・世界史探究・地理探究・倫理・政経・数学探究・地学基礎・スポーツマネジメント・芸術Ⅲ 理系選択 古典探究・数学探究・日本史A・倫理・政経・地学基礎																											
2019年	1学年		国語総合			地理B			現社	数学Ⅰ		数学A		化学基礎	生物基礎	体育		保健	芸術Ⅰ	コミ英Ⅰ			英表Ⅰ	総合	LHR			
	2学年	現代文B		古典B		世界史B			数学Ⅱ		地学基礎 または 物理基礎		体育	保健	芸術Ⅱ	コミ英Ⅱ			英表Ⅱ		家庭基礎		総合	LHR				
		選 択 倫理・政経・数学B																										
	3学年	文系	現代文B		古典探究α		日本史B		文系選択		1科目 より 選択	地学Ⅰ 生物Ⅰ 物理Ⅱ	体育		コミ英Ⅲ			英表Ⅱ		情報の科学		総合	LHR					
		理系	現代文B		理系選択	数学Ⅲ			2講座 より 生物 物理Ⅰ		2講座 より 生物 物理Ⅰ		体育		コミ英Ⅲ			英表Ⅱ		情報の科学		総合	LHR					
	文系選択 国語表現・古典探究β・日本史探究・世界史探究・地理探究・倫理・政経・数学探究β・理科探究・スポーツマネジメント・芸術Ⅲ・英語探究 理系選択 国語表現・古典探究β・地理探究・倫理・政経・数学探究β・理科探究・スポーツマネジメント・芸術Ⅲ・英語探究																											

芸術Ⅰは音楽Ⅰ、美術Ⅰ、書道Ⅰのいずれから1科目選択

芸術Ⅱは音楽Ⅱ、美術Ⅱ、書道Ⅱのいずれから1科目選択

芸術Ⅲは音楽Ⅲ、美術Ⅲ、書道Ⅲのいずれから1科目選択

■ 創立40周年事業の概要

創立40周年記念準備委員会

第1回 平成30年8月31日 第2回 平成30年12月11日

第3回 平成31年3月14日 第4回 令和元年6月13日

主な議題

○準備委員・委員長決め ○事業内容の検討 ○記念式典の方針の検討

○記念誌編集方針の検討 ○会則及び組織の検討

創立40周年記念事業実行委員会実施

第1回 令和元年9月19日 第2回 令和元年11月14日

第3回 令和2年2月6日 第4回 令和2年5月22日

第5回 令和2年10月9日 第6回 平成2年11月20日

実行委員会役員

委員長 百瀬幸次（元PTA会長）

後援会 会長 吉村貞男 副会長 櫻井笑子 副会長 石橋久和

同窓会 会長 山内啓嗣 副会長 阿部知和 副会長 鬼澤雅弘 監査 田中孝史

P T A 会長 鳥海直樹 前会長 高橋 哲

前副会長 赤海章義 副会長 後藤美香 副会長 前田憲一

広報委員長 大崎淳司

学 校 校長 弘海政信 教頭 遠山宗利（金田一幸）

事務長 及川佳司（多田文裕） 総務 飯島孝則 事務局 板倉恵一

事 業

- 1 記念式典について・・・担当後援会・学校（コロナ禍のため中止）
実施予定内容・・・式典・記念講演（我武者羅應援團）
- 2 祝賀会について・・・担当同窓会・学校（コロナ禍のため中止）
- 3 緞帳の改修について・・・昭和58年・59年・60年寄贈緞帳の改修
- 4 記念誌について・・・担当P T A・学校
- 5 記念品について・・・エコバック作成（ロゴマーク作成40期生齋藤春菜作）
- 6 時計塔の改修・設置について・・・同窓会平成27年作成
- 7 交流会実施について・・・（コロナ禍のため中止）

創立40周年の会則

(名 称)

第1条 本委員会は千葉県立成田北高等学校
創立40周年記念事業実行委員会と称
し、事務局を同校内に置く。

(目 的)

第2条 本委員会は同校創立40周年記念事業
を行うことを目的とする。

(構 成)

第3条 本委員会はP T A、後援会、黎明会
並びに校長が指名した学校職員を委
員として構成する。

(役 員)

第4条 本委員会に次の役員を置く。

委 員 長	1 名
副委員長	4 名
理 事	若干名
事 務 局	2 名
会 計	2 名
監 事	2 名

- 2 委員長及び監事は、委員の互選により選出する
- 3 委員長は委員の中から副委員長・理事・会計を委嘱する。ただし、副委員長1名は校長に、会計1名は事務長に、事務局1名は学校職員代表に委嘱する。
- 4 委員長は本委員会を代表し会務を総括する。
- 5 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故があったときは会務を代行する。
- 6 理事は事業の企画・運営にあたる。
- 7 事務局は会務に携わる。
- 8 会計は会務会計事務に携わる。
- 9 監事は会計を監査する。

(会 議)

第5条 本委員会の会議は必要に応じて委員長が招集し、次の事項を審議する。

- ① 事業計画及びその内容に関すること。
- ② 予算案及び決算に関すること。
- ③ その他、委員長が必要と認めたこと。

2 会議の議決は委員の過半数の賛成を要する。

(会 計)

第6条 本委員会の会計はP T A及び後援会並びに黎明会の補助、その他寄付金をもって充てる。

(期 間)

第7条 本委員会は所期の目的を達成した日をもって解散する。

附 則 この会則は令和元年9月19日から実施する。



PTAページ編集を終えて

成北PTAのこの10年の躍進は平成25年の全国高等学校PTA大会での発表という大役から始まったのだと思います。その年の7月に始まった成北未来講座は全国大会の発表テーマでもあった“キャリア教育”に向き合ったときにPTAがどうしてもやりたかった活動だったのです。

また、同じ年に行われた印旛地区公立高校合同研修会を主催校として成功させたことが成北PTAの結束を固めてくれました。

そして、役員選出方法を見直すことでPTA活動に関心の強い仲間を集めることができるようになり、役員の人数も大幅に増やすことができたのです。

平成26年には地域交流委員会（現文化地域委員会）と研修委員会（現教養研修委員会）を加え5委員会として、委員会活動がさらに活発になっていきました。

いまでも続く成北PTAのスピリットは、今の13人という役員数に表れているように年々引き継がれているのだと思います。これからも成北PTAが発展していくよう陰ながら見守っていきたいと思います。

PTA広報委員長 大崎 淳司

創立40周年記念誌の発行にあたって

編集後記

創立40周年記念誌が多くの皆さまの御協力によってここに完成し、発行できたことは誠に有難く厚く御礼申し上げます。

発行にあたり、創立5周年・10周年・20周年・30周年の記念誌を読み、成田北高校の歴史を知ることができました。1期生が4月15日成田西高校体育館で入学式を迎え、まだ舗装されていない学校への道を通ったこと。2年目に北校舎、3年目に体育館ができたこと。千把ヶ池をグラウンドにしたので、埋めても埋めても地盤が沈下してしまったこと。PTAと生徒・職員で約60種800本程の植樹をしたこと。記念誌「黎明十年」に旧職員の文章で「ないないづくしの開校時」という行があり、「成田北高校は第1期生の卒業をもってほぼ完成した。3年間は生徒と話し合いながらコツコツと作り上げていく作業だった。」と知り、敬服するばかりです。さらにテニスコートを作り、グラウンドへの階段を作り・・・いろいろなものが備わるまで8年かかったこと。その後バブル景気を経験し、30学級のマンモス校となったこと。学校行事はさらに充実し、オーストラリアのワガワガ高校との交流も開始したこと。今までの歴史を経て現在があります。この10年間でPTA活動が多方面で充実しました。今回記念誌「黎明四十年」を読み成田北高校の歴史に少しでも興味を持ち、満足していただければ幸いです。

板倉 恵一

千葉県立成田北高等学校 創立40周年記念誌

令和3年3月8日発行

編集 千葉県立成田北高等学校
創立40周年記念事業実行委員会

発行 千葉県立成田北高等学校
〒286-0011 千葉県成田市玉造5-1

印刷 三陽メディア株式会社

